

栗東市子ども・子育て支援事業
ニーズ調査結果報告書（案）
【小学校児童用】

平成26年2月
栗東市

目次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の分析	
第1節 子どもの育ちをめぐる環境について	6
第2節 就労状況について	
1) 母親の就労状況について	15
2) 父親の就労状況について	22
第3節 子育てと仕事との両立について	27
第4節 放課後の過ごし方について	28
第5節 病気の際の対応について	37
第6節 不定期の教育・保育事業の利用について	44
第7節 市の子育て支援全般について	50

第1章 調査の概要

1) 調査の目的

栗東市では、「子ども・子育て支援法」などにに基づき、平成27年度から本格施行が予定されている子ども・子育て支援新制度における教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の充実を図るため、5年間を一期とする栗東市子ども・子育て支援事業計画を作成し、円滑にかつ計画的に事業が実施できるよう準備を進めています。

本調査は、栗東市における教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、事業計画に教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「利用人数などの見込み」を適切に設定するために実施しました。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域……栗東市内全域
- (2) 調査対象……栗東市内在住の小学校児童の保護者 1,000人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による配布、回収
- (5) 調査期間……平成25年10月10日～11月5日

3) 回収結果

- (1) 調査票送付数 1,000人
- (2) 回収数 424人
- (3) 回収率 42.4%

4) 集計にあたって

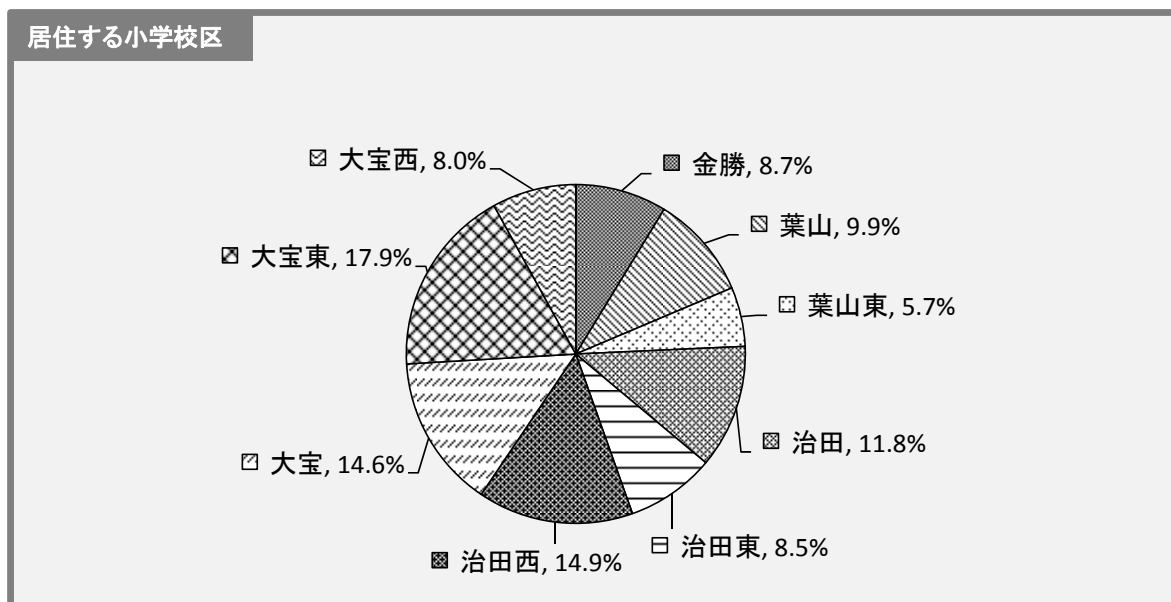
- (1) 集計結果はすべて、小数第2位を四捨五入して算出しました。そのため、回答率を合計しても100.0%にならず、1%の範囲で増減することがあります。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出しました。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (3) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- (5) クロス結果の表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、基数nは設問により異なります。また、年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがあります。

5) 回答者の基本属性

【居住学区】

居住する小学校区は、「大宝東」が最も多く、次いで、「治田西」、「大宝」と続いています。

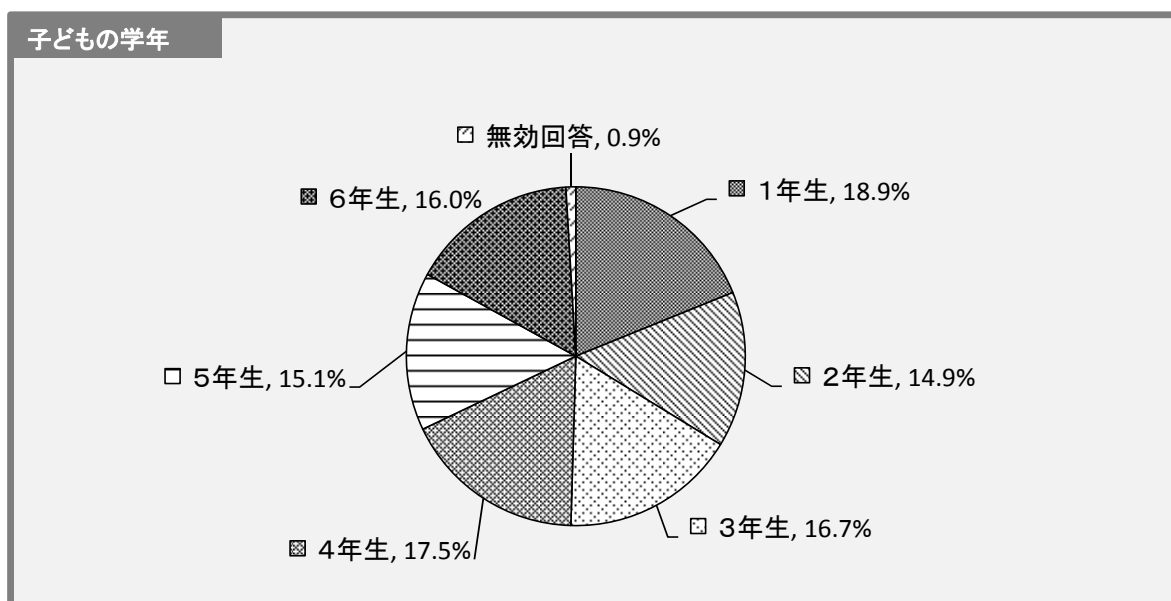
図 1 - 1 居住学区 (単数回答 n=424)



【学年】

学年は、「1年生」が18.9%で最も多く、次いで、「4年生」(17.5%)、「3年生」(16.7%)、「6年生」(16.0%)と続いています。

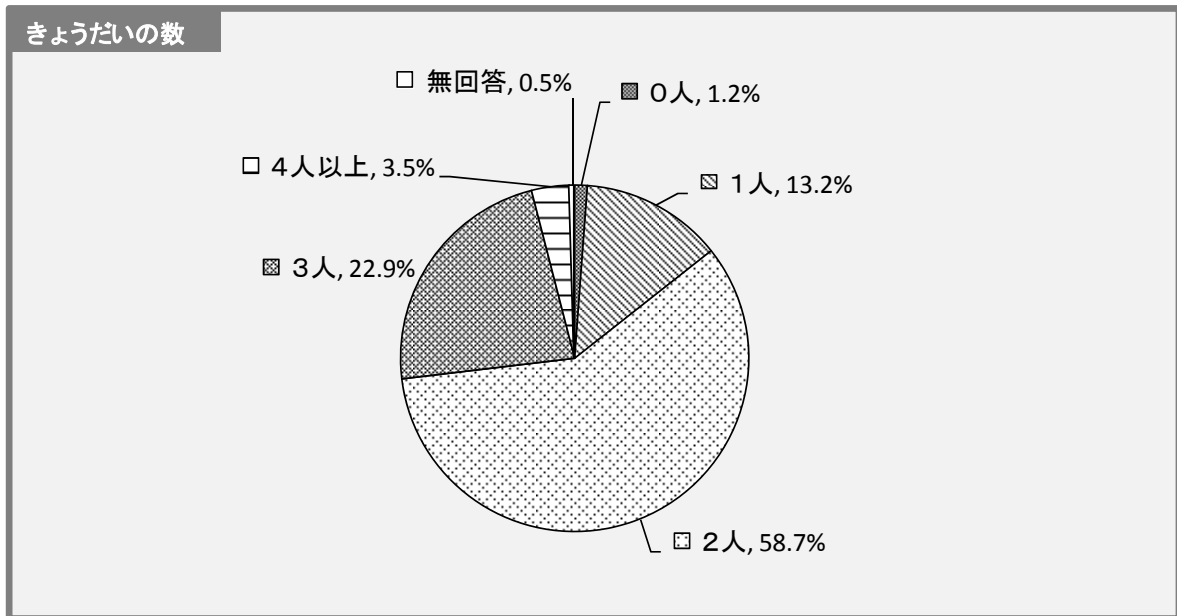
図 1 - 2 学年 (数値回答 n=424)



【きょうだい数】

きょうだいの数は、「2人」が58.7%で最も多く、「3人」が22.9%が続いています。

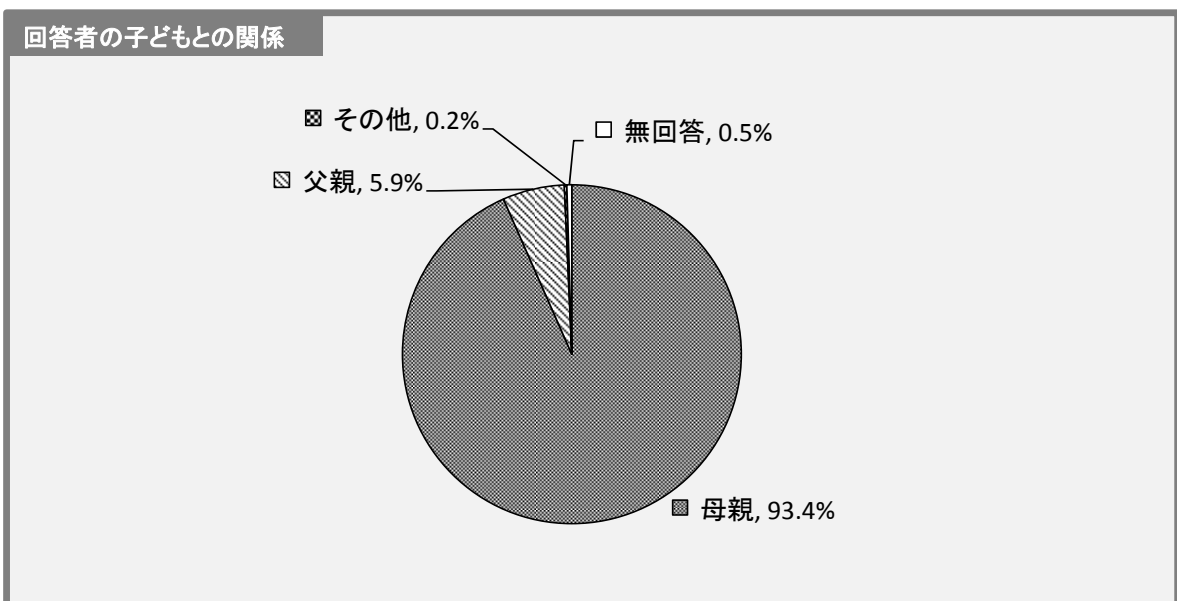
図1-3 きょうだい数（数値回答 n=424）



【アンケートの回答者】

アンケートの回答者は、「母親」が90%以上を占め、「父親」は5.9%となっています。

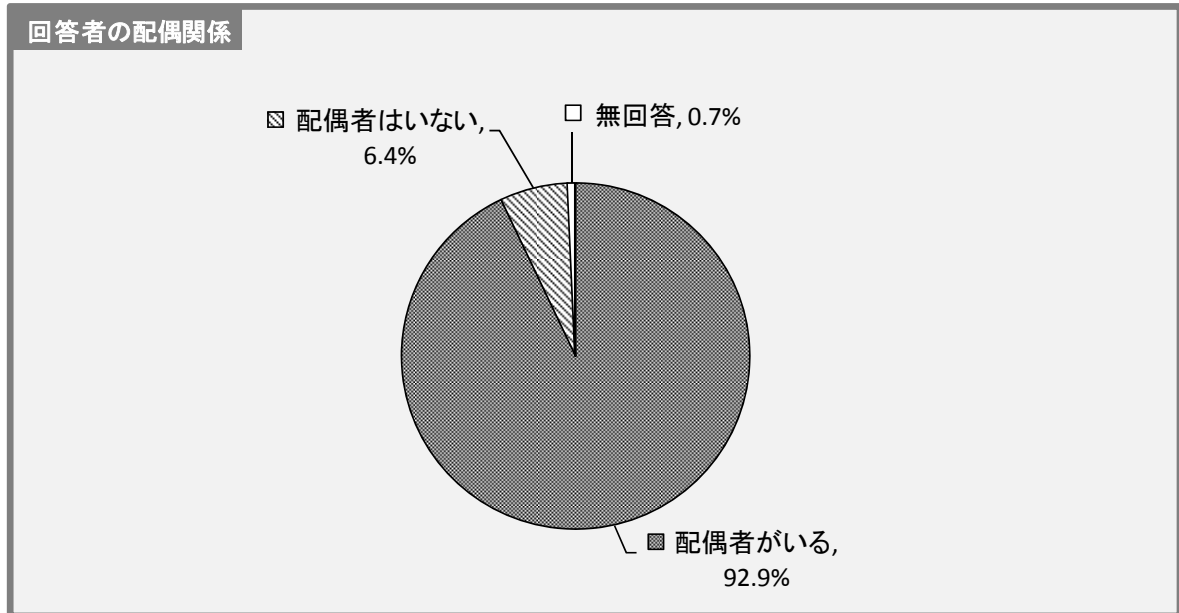
図1-4 回答者の子どもとの関係（単数回答 n=424）



【回答者の配偶関係】

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が90%を超えており、「配偶者はいない」が6.4%となっています。

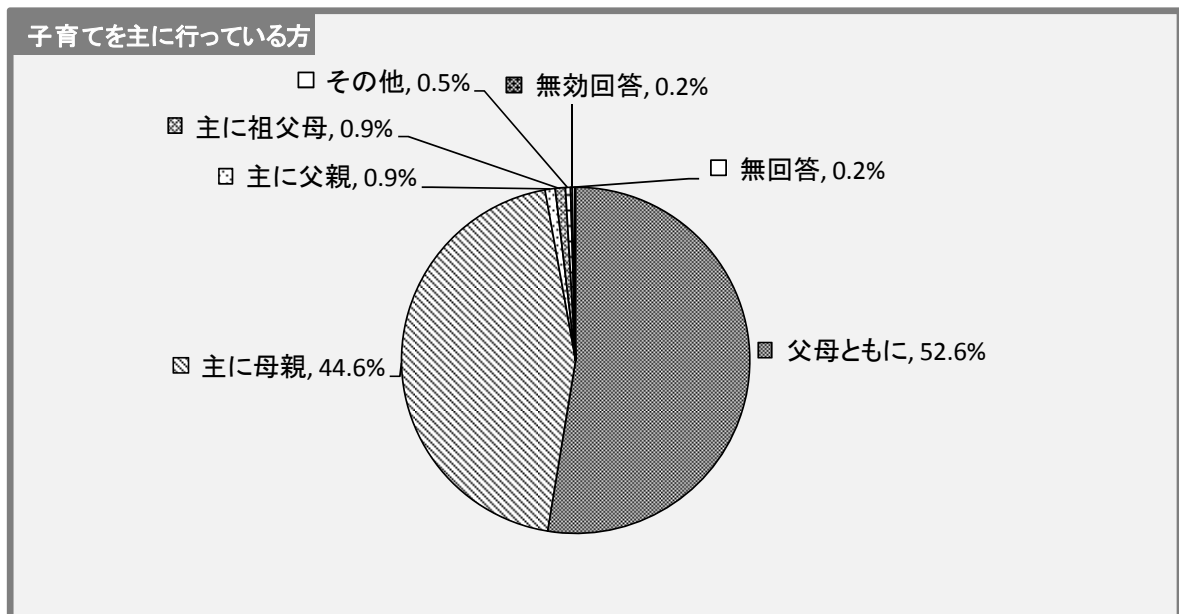
図1-5 回答者の配偶関係（単数回答 n=424）



【主に子育てを行っている方】

主に子育てを行っている人は、「父母ともに」子育てを行っている人が過半数を占め、「主に母親」と回答した人も半数近くを占めています。

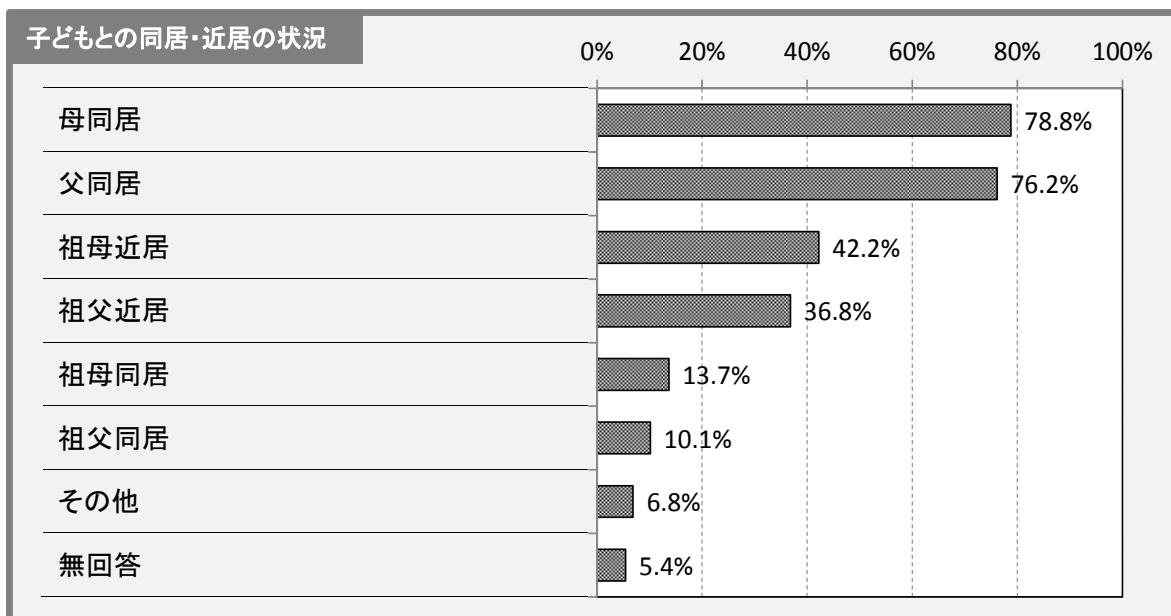
図1-6 主に子育てを行っている人（単数回答 n=424）



【子どもとの同居・近居の状況】

子どもとの同居・近居の状況は、「母同居」と「父同居」が80%近くを占め多くなっています。また、祖父母の近居が40%前後を占め、祖父母の同居は10%前後となっています。

図1-7 子どもとの同居・近居の状況（複数回答・いくつでも n=424）



第2章 調査結果の分析

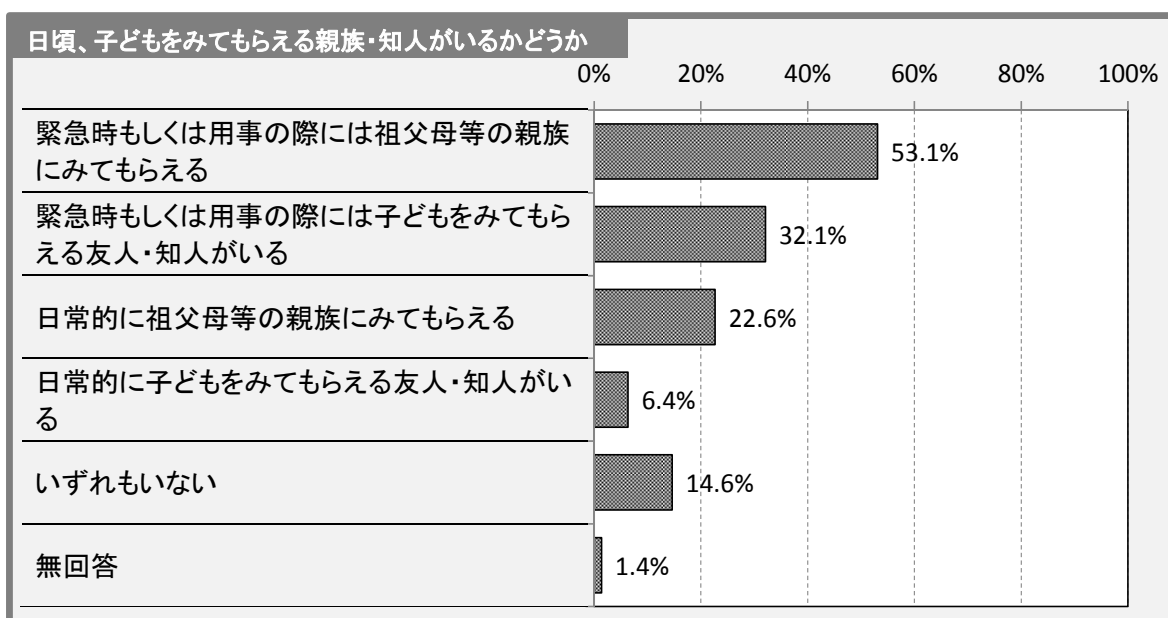
第1節 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.1%で最も多く、次いで、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が32.1%が続いています。

一方、「いずれもない」は14.6%あります。

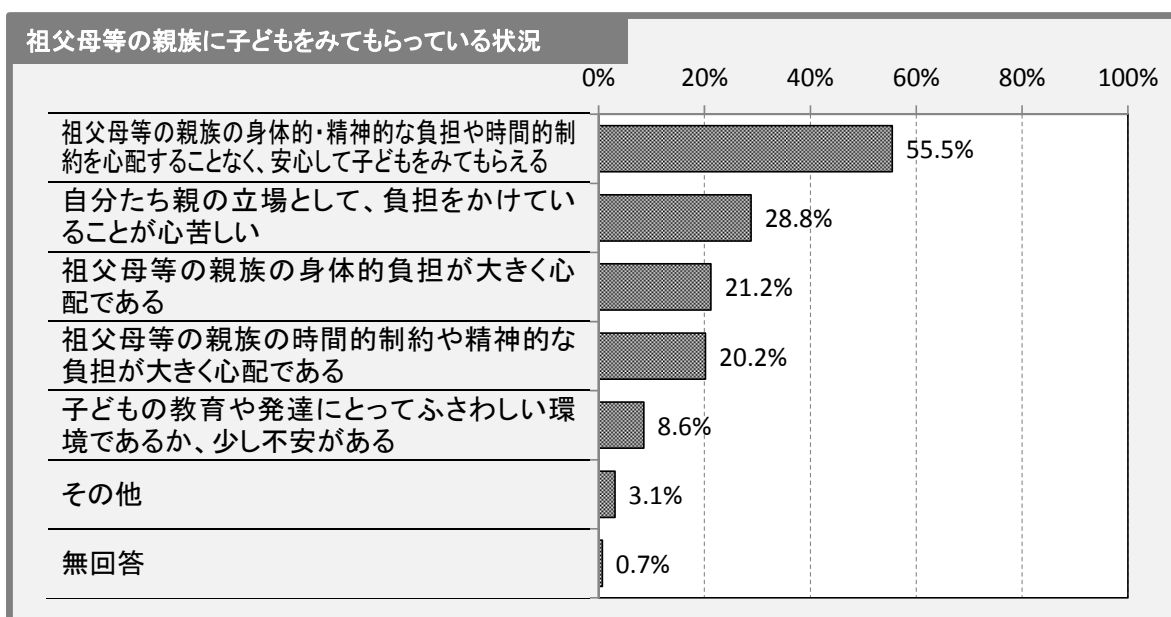
図2-1 子どもをみてもらえる親族・知人がいるかどうか（複数回答・いくつでも n=424）



問8-① 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(問8で「1」または「2」に○をつけた方)

子どもを親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.5%で最も多くなっています。一方、負担をかけていることに対する心苦しさや心配、不安を感じている人もそれぞれ20%以上あります。

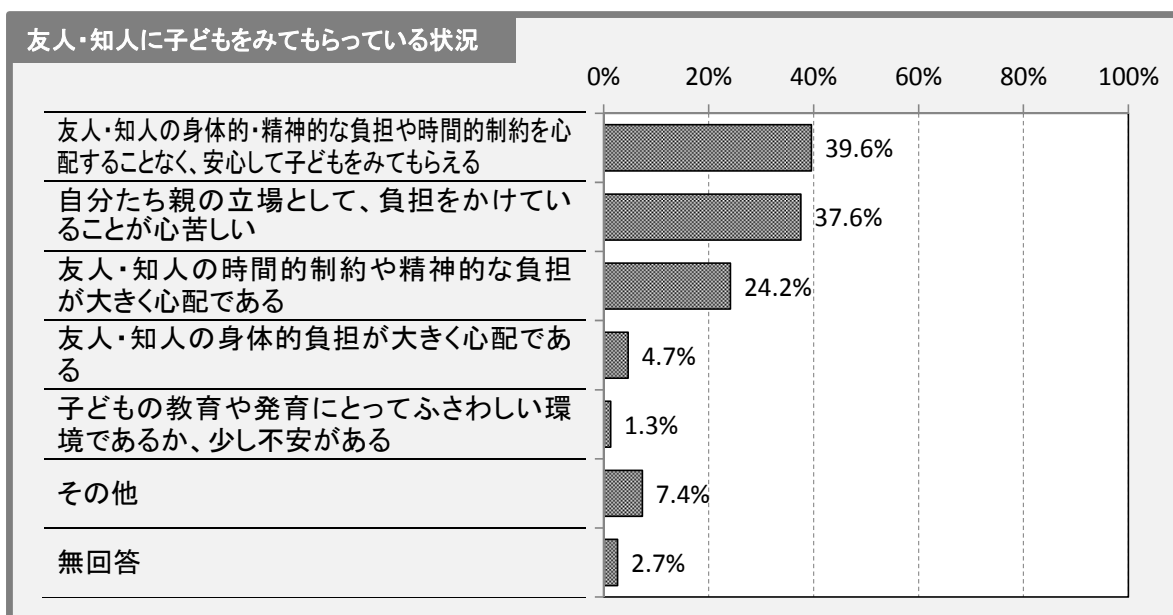
図2-2 子どもを親族にみてもらっている状況（複数回答・いくつでも n=292）



問8-② 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(問8で「3」または「4」に○をつけた方)

子どもを友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した人が39.6%で最も多くなっています。次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が37.6%「友人、知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」は24.2%で続いており、負担をかけていることに対する心苦しさや心配、不安を感じている人も多くなっています。

図2-3 子どもを友人・知人にみてもらっている状況（複数回答・いくつでも n=149）

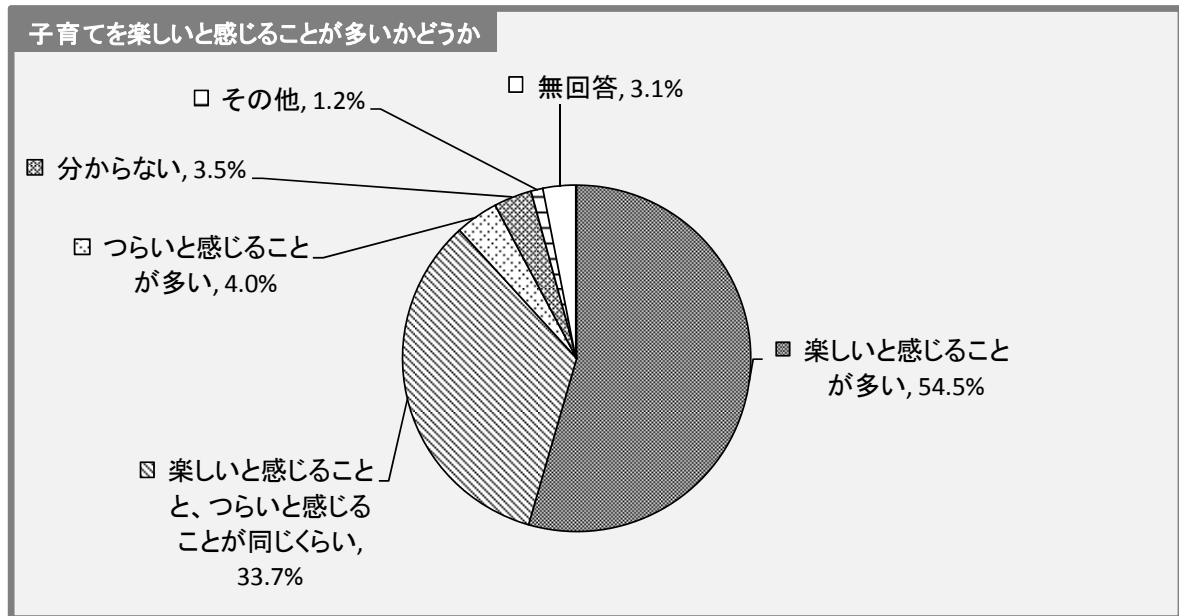


問9 子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。

子育てを楽しいと感じることが多いか、つらいと感じることが多いかどうかについては、「楽しいと感じることが多い」と感じている人が過半数を占めています。次いで、「楽しいと感じること、つらいと感じることが同じくらい」が約30%で続いています。

一方、「つらいと感じることが多い」と回答した人は4.0%あります。

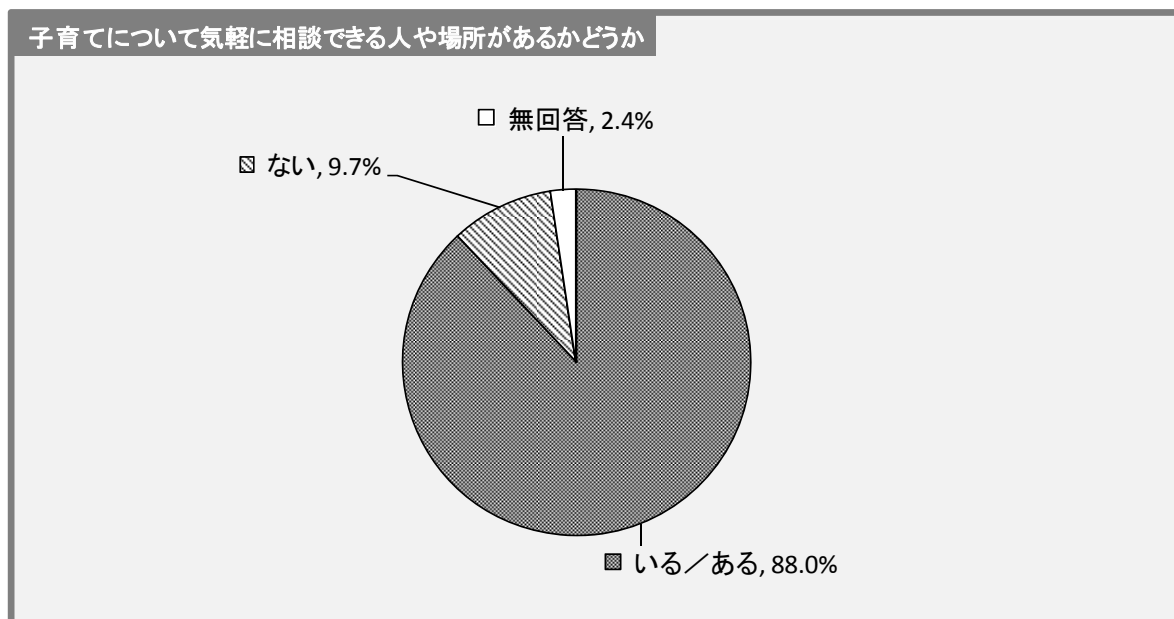
図2-4 子育てを楽しいと感じるかつらいと感じるかどうか（単数回答 n=424）



問 10 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育てについて相談できる人、場所があるかどうかについては、「いる／ある」と回答した人が90%近くを占めており、「ない」と回答した人は約10%となっています。

図 2-5 子育てについて相談できる人、場所があるかどうか（単数回答 n=424）

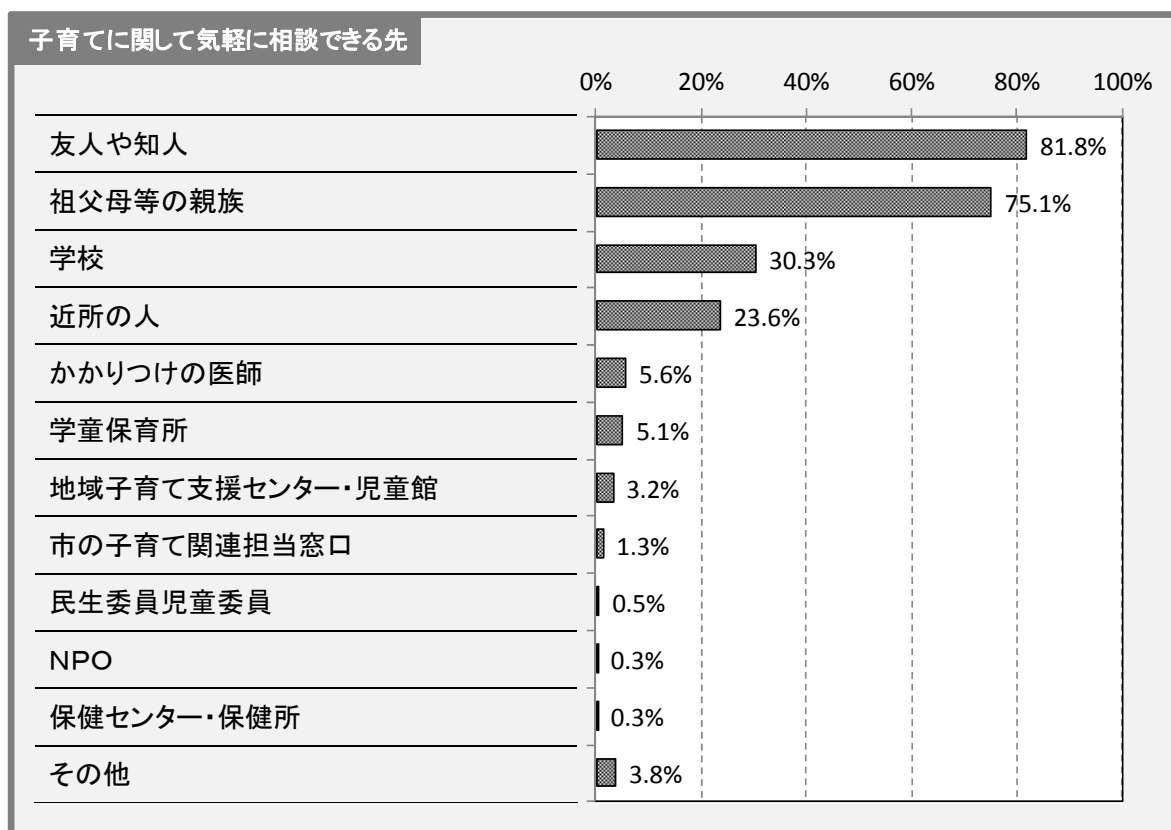


問 10-① お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方）

子育てに関する相談先は、「友人や知人」が 80%を超えて最も多く、次いで、「祖父母等の親族」（75.1%）が僅差で続いており、この2つが突出して多くなっています。

一方、「地域子育て支援センター・児童館」、「市の子育て関連担当窓口」、「民生委員児童委員」、「保健センター・保健所」等に関しては、いずれも少なくなっています。

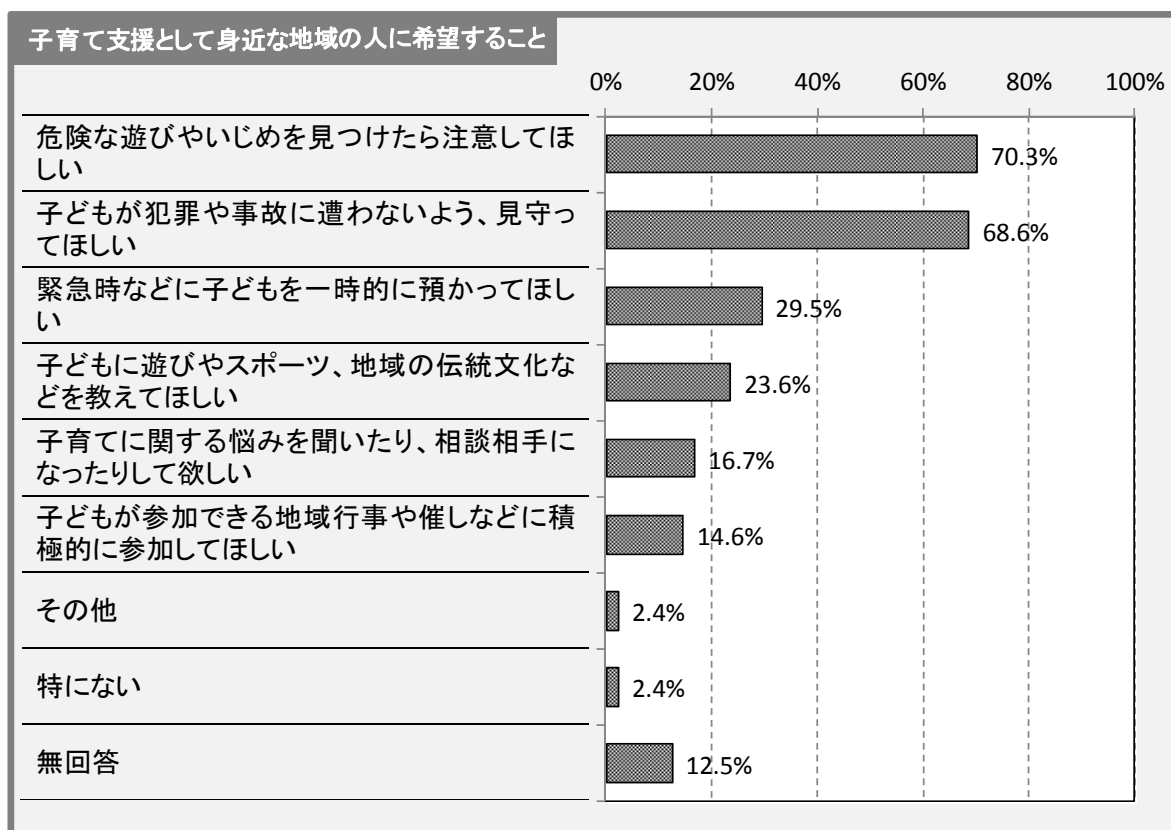
図 2-6 子育てに関する相談先（複数回答・いくつでも n=373）



問 11 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを希望しますか。

子育て支援として地域の人に希望することについては、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」と「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 70%前後あり、見守りへの期待が大きいことがうかがえます。

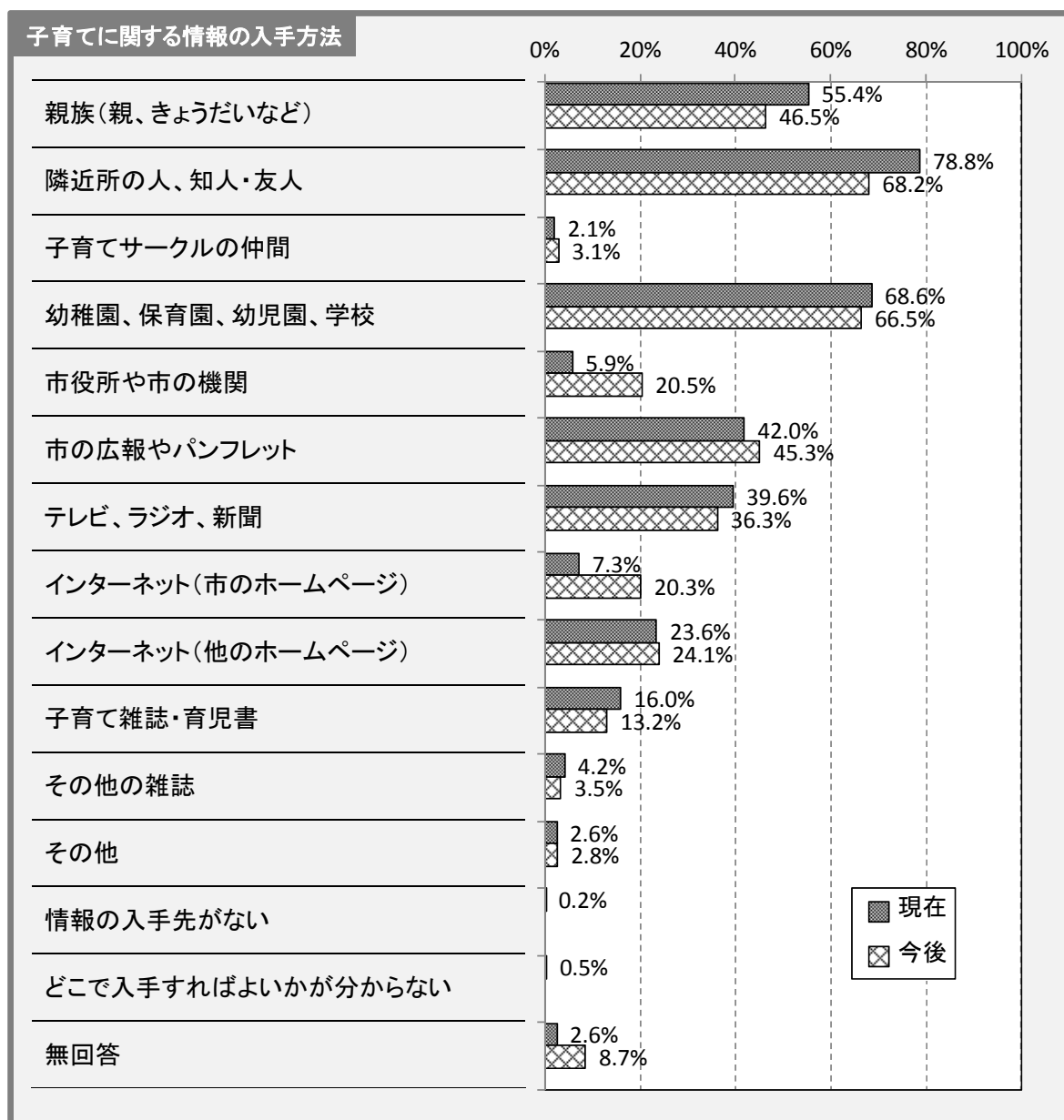
図 2-7 子育て支援として地域の人に希望すること（複数回答・いくつでも n=424）



問 13 子育てに関する情報の入手方法についておたずねします。《現在》はどのような形で入手されていますか。また《今後》はどのような形を希望されますか。

子育てに関する情報の入手方法については、《現在》は「隣近所の人、知人・友人」が約80%で最も多く、次いで、「幼稚園、保育園、幼児園、学校」、「親族（親、きょうだいなど）」が続いています。《今後》の希望も「隣近所の人、知人・友人」、「幼稚園、保育園、幼児園、学校」、「親族（親、きょうだいなど）」の順となっていますが、「市役所や市の機関」と「インターネット（市のホームページ）」で情報を入手したいと考えている人がそれぞれ14.6ポイント、13.0ポイント増えています。一方、現在、「情報の入手先がない」、「どこで入手すればよいか分からない」はそれぞれ0.2%、0.5%と非常に少なくなっています。

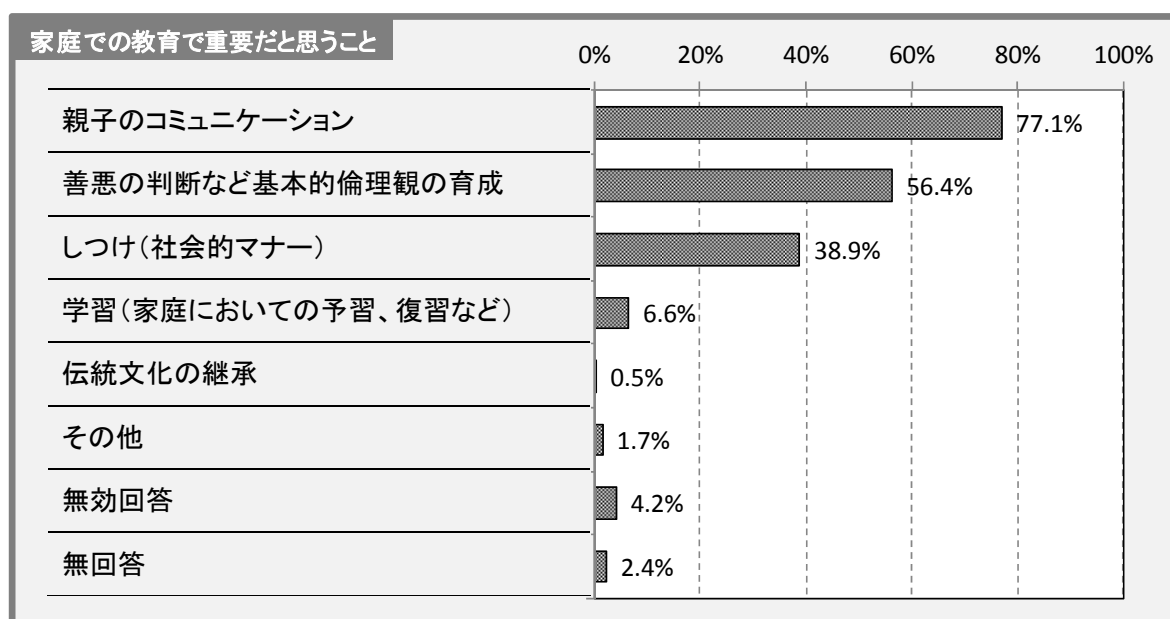
図 2-8 子育てに関する情報の入手方法（複数回答・いくつでも n=424）



問 14 家庭での教育において、とくに何が重要だとお考えですか。

家庭での教育で何が重要かについては、「親子のコミュニケーション」が80%近くあり最も多くなっています。次いで、「善悪の判断など基本的倫理観の育成」(56.4%)、「しつけ(社会的マナー)」(38.9%)と続いています。

図 2-9 家庭での教育で重要なこと(複数回答・2つまで n=424)



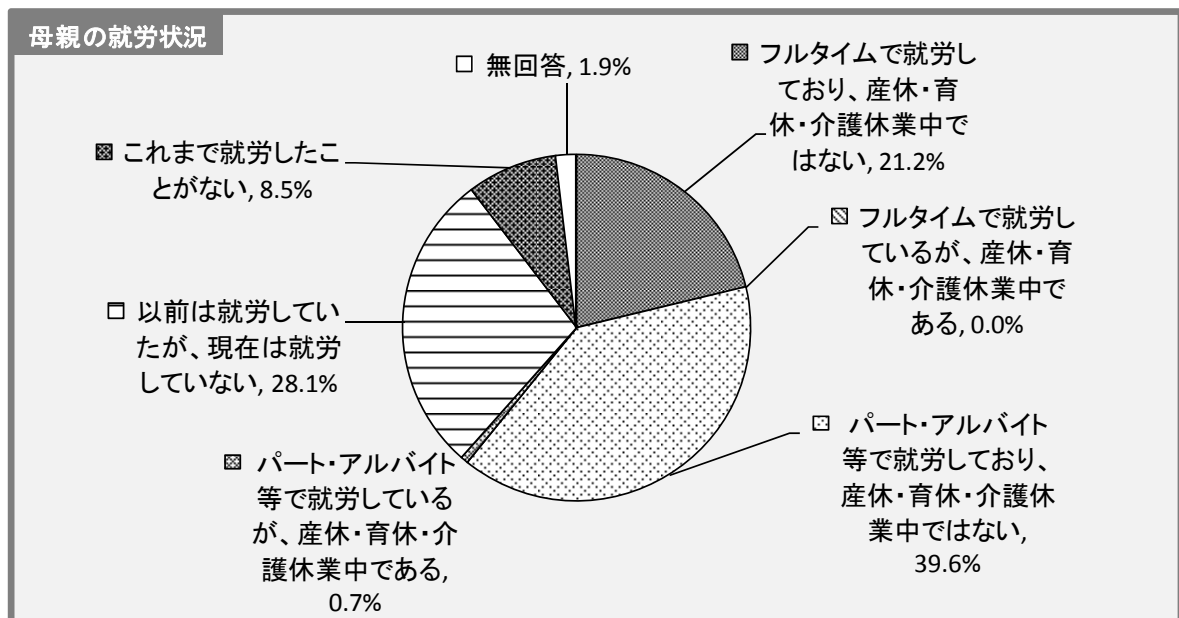
第2節 就労状況について

1) 母親の就労状況について

問 15 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.6%で最も多く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(28.1%)、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(21.2%)と続いています。また、現在「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中」の人はありません。

図 2-10 母親の就労状況（単数回答 n=424）



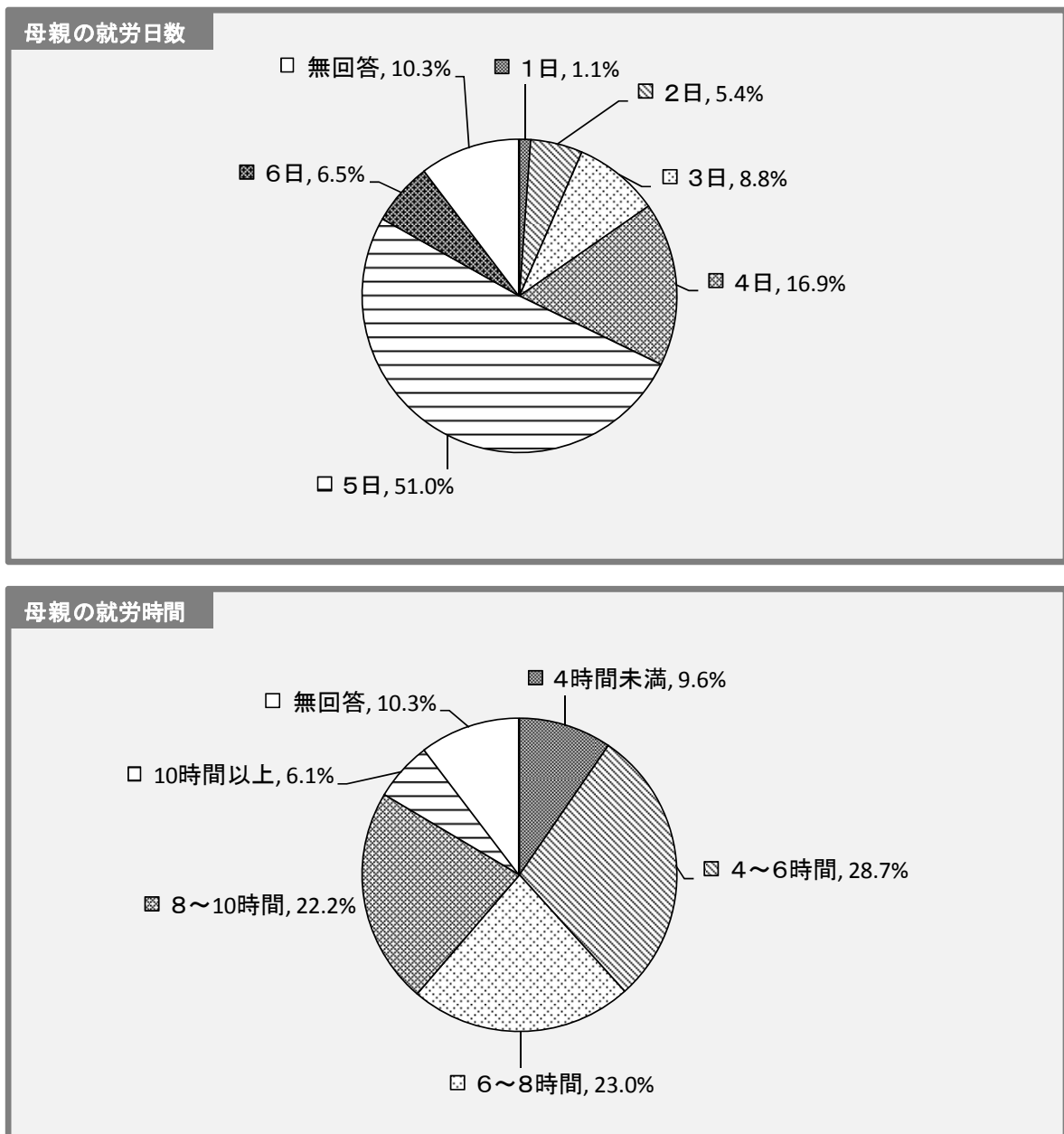
問 16 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(1) 就労日数、就労時間

母親の週当たりの就労日数は、「5日」が過半数を占め最も多くなっています。

1日当たりの就労時間は、「4～6時間」が 28.7%、「6～8時間」が 23.0%、「8～10時間」が 22.2%となっています。

図 2-11 母親の就労日数、就労時間（数値回答 n=261）

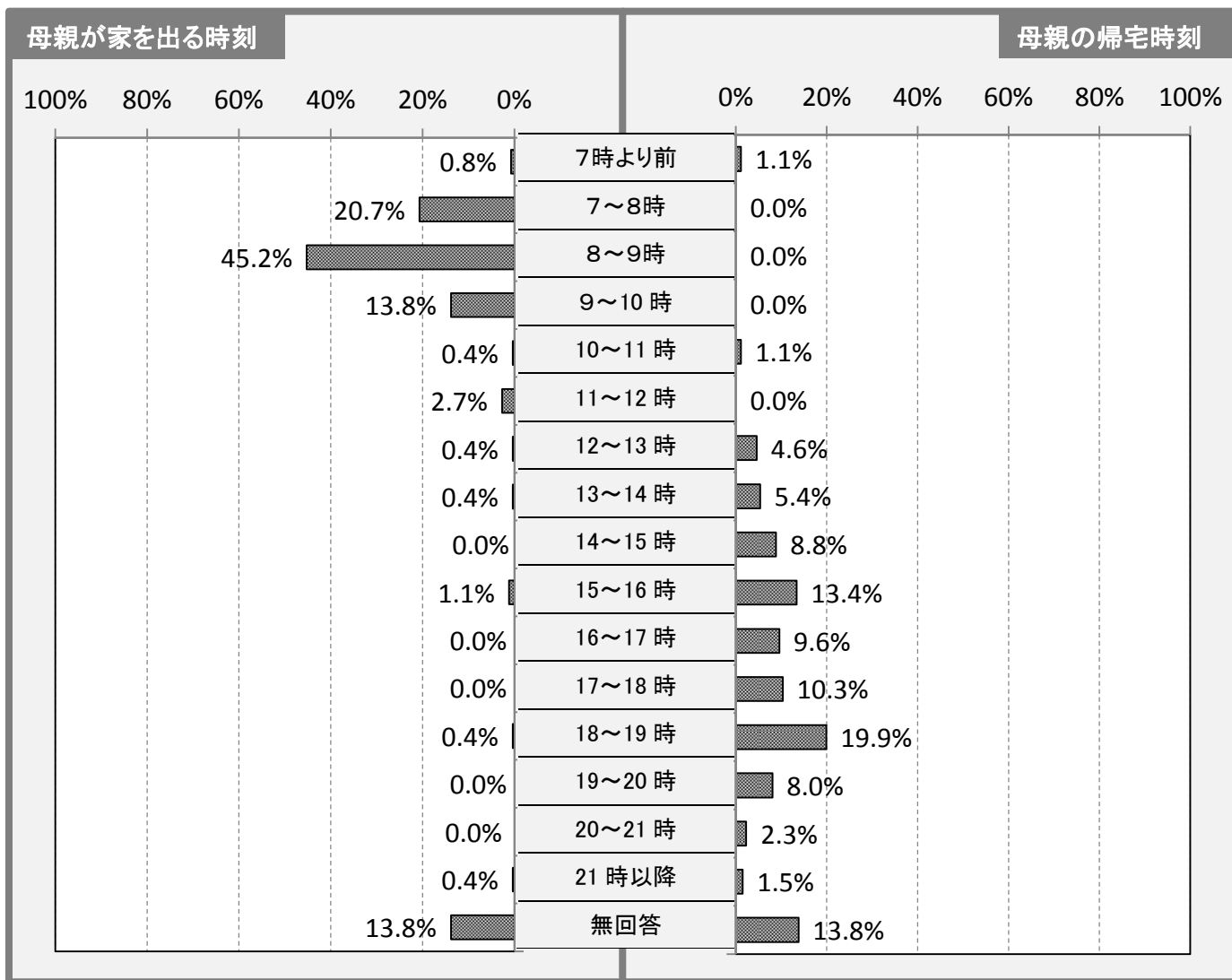


(2) 家を出る時刻、帰宅時刻

母親が家を出る時刻は、「8～9時」が45.2%で最も多く、「7～8時」が20.7%が続いています。

帰宅時間については、「18～19時」が19.9%で最も多く、「15～16時」が13.4%が続いています。

図2-12 母親の家を出る時刻、帰宅時刻（数値回答 n=261）

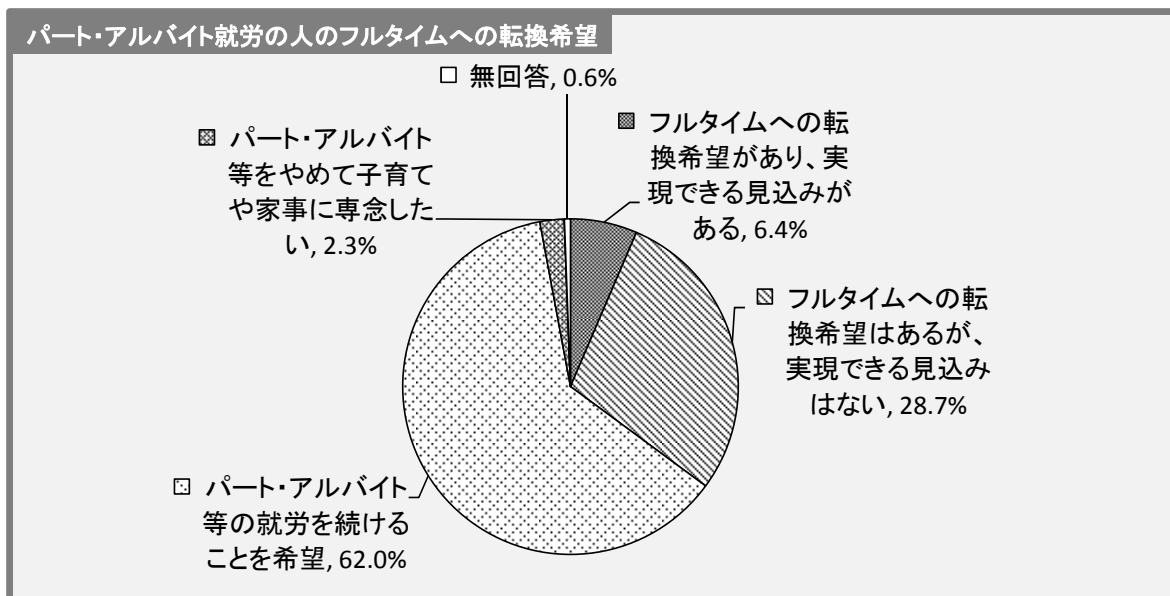


問 17 フルタイムへの転換希望はありますか。(問 15で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方)

現在パート・アルバイト等で就労中の人のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60%を超えて最も多く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.7%で続いています。

一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は6.4%となっています。

図 2-13 フルタイムへの転換希望 (単数回答 n=171)

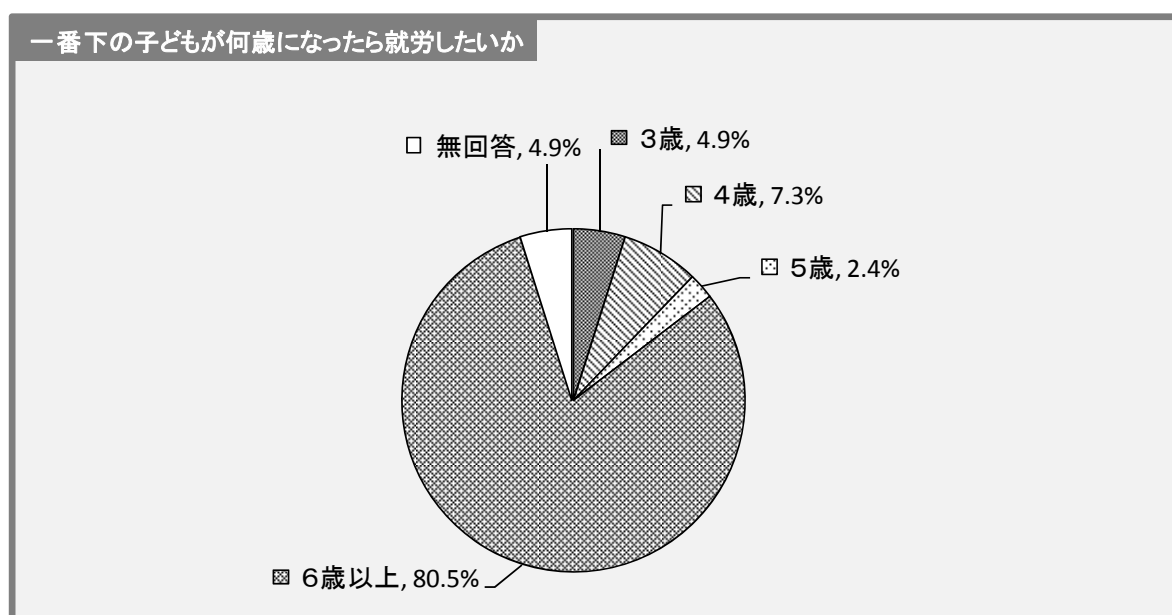
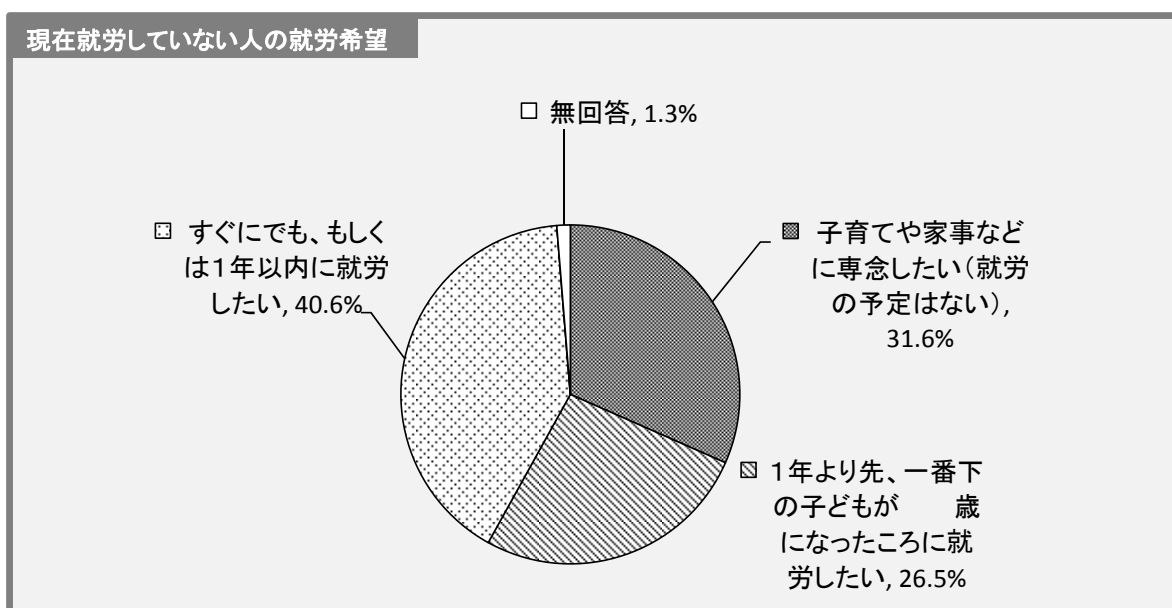


問 18 就労したいという希望はありますか。(問 15 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」に〇をつけた方)

現在就労していない人の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」が 26.5%を占めており、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 40.6%と、『就労したい』人は合わせて 67.1%を占めています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」は 31.6%あります。

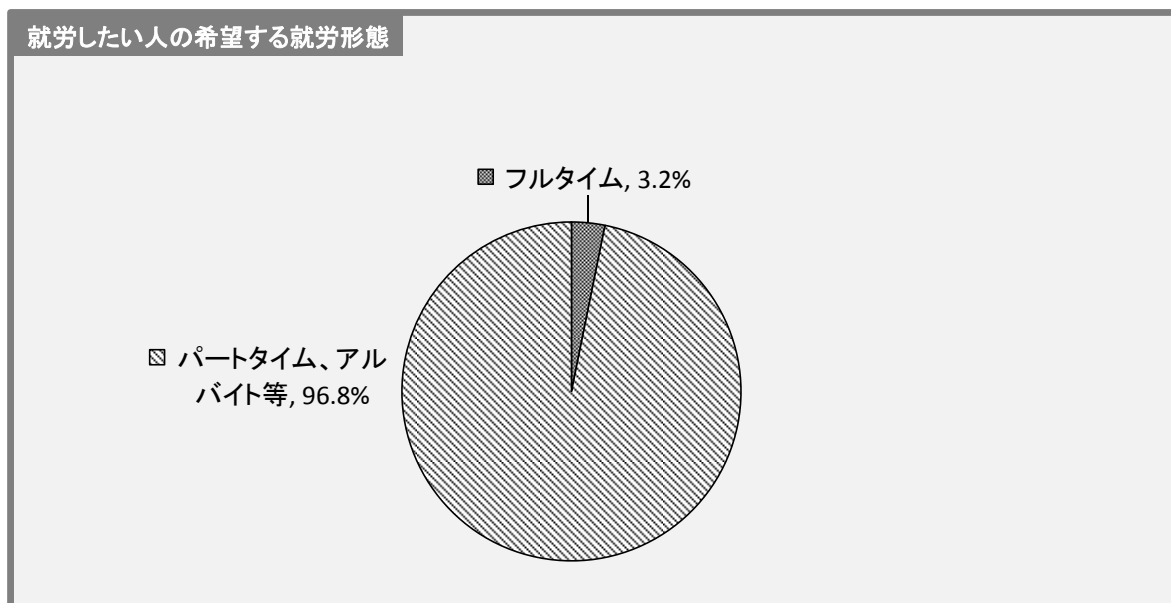
1番下の子どもが「6歳以上」になったら就労したいと考える人が 80.5%を占めており、「4歳」は 7.3%、「3歳」は 4.9%となっています。

図 2-14 就労希望 (単数回答 n=155) 希望する就労時期 (数値回答 n=41)



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が96.8%を占め、「フルタイム」は3.2%と少なくなっています。

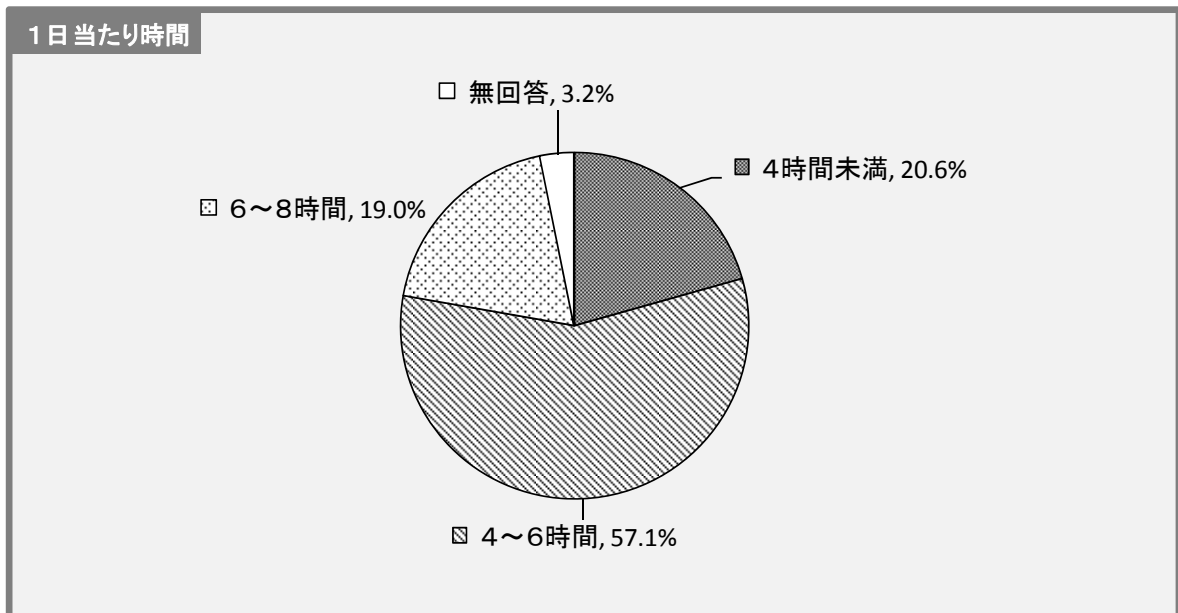
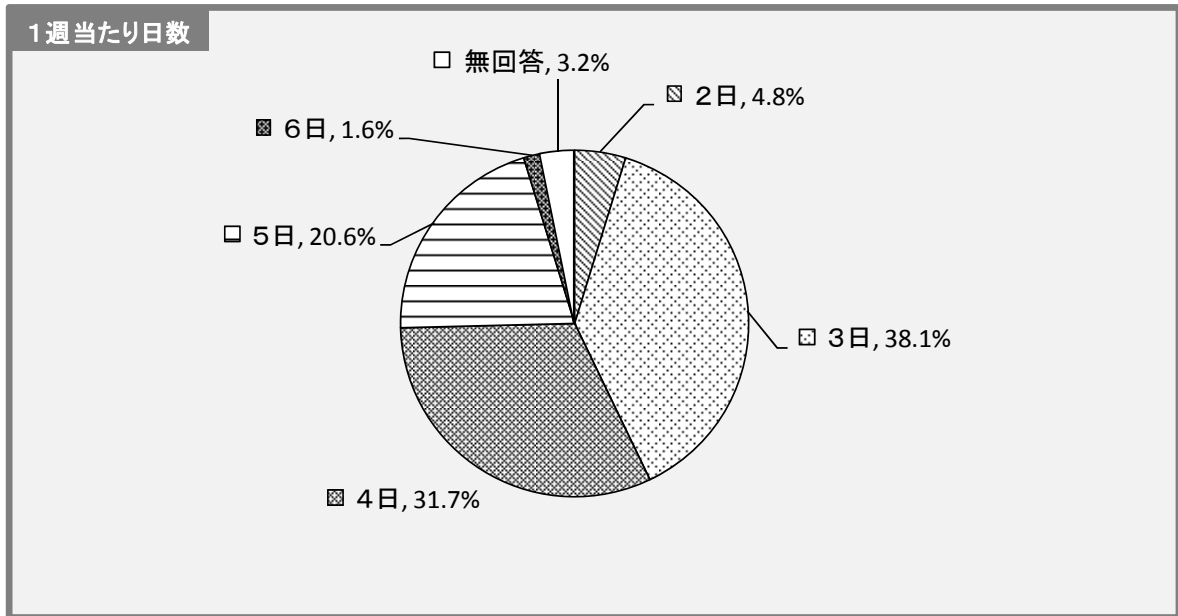
図2-15 希望する就労形態（単数回答 n=63）



パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望就労日数は、「3日」が38.1%で最も多く、次いで、「4日」(31.7%)、「5日」(20.6%)と続いています。

1日当たりの希望就労時間は、「4～6時間」が60%近くを占め最も多くなっています。

図2-16 希望する就労日数・1日当たり就労時間（数値回答 n=63）



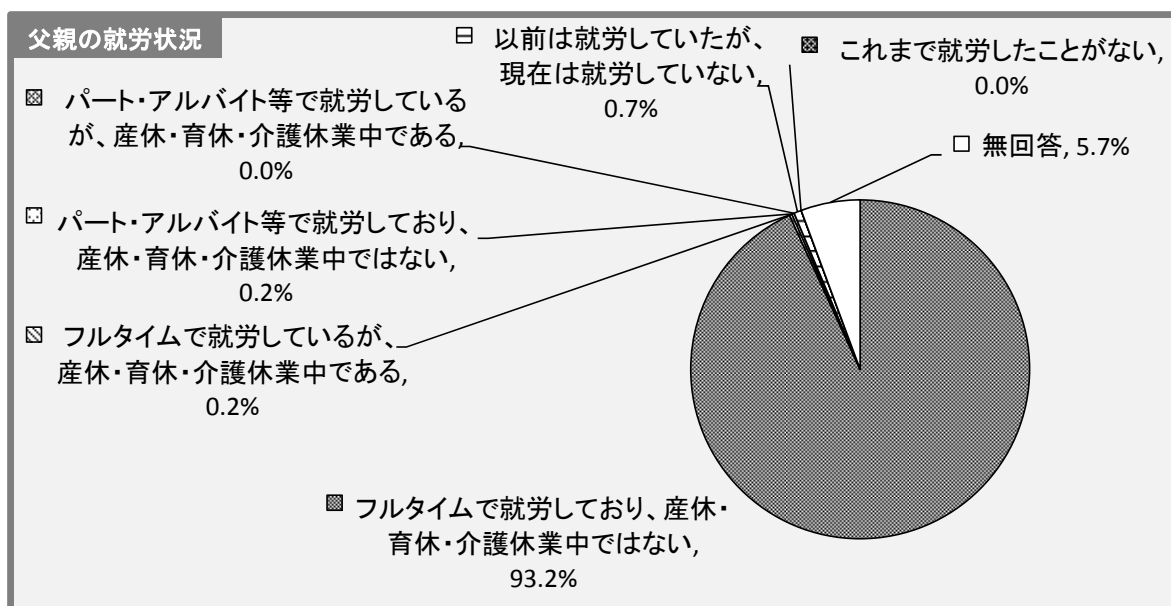
2) 父親の就労状況について

問 19 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.2%を占めています。「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は0.2%（1人）となっています。

一方、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は0.2%（1人）となっています。

図 2-17 父親の就労状況（単数回答 n=424）



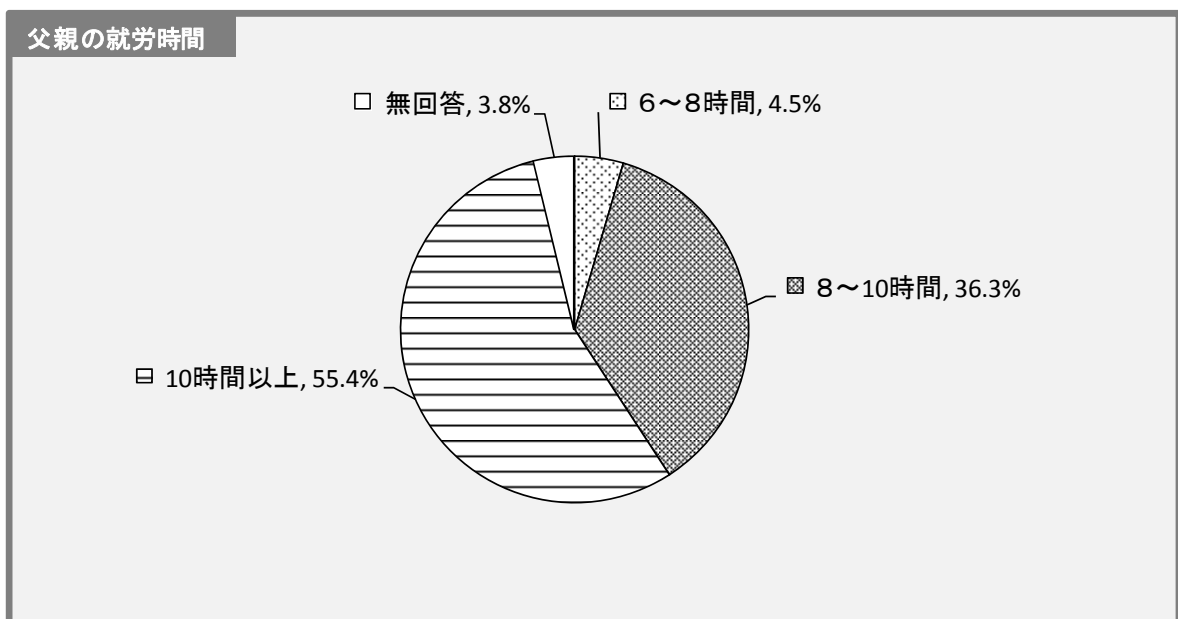
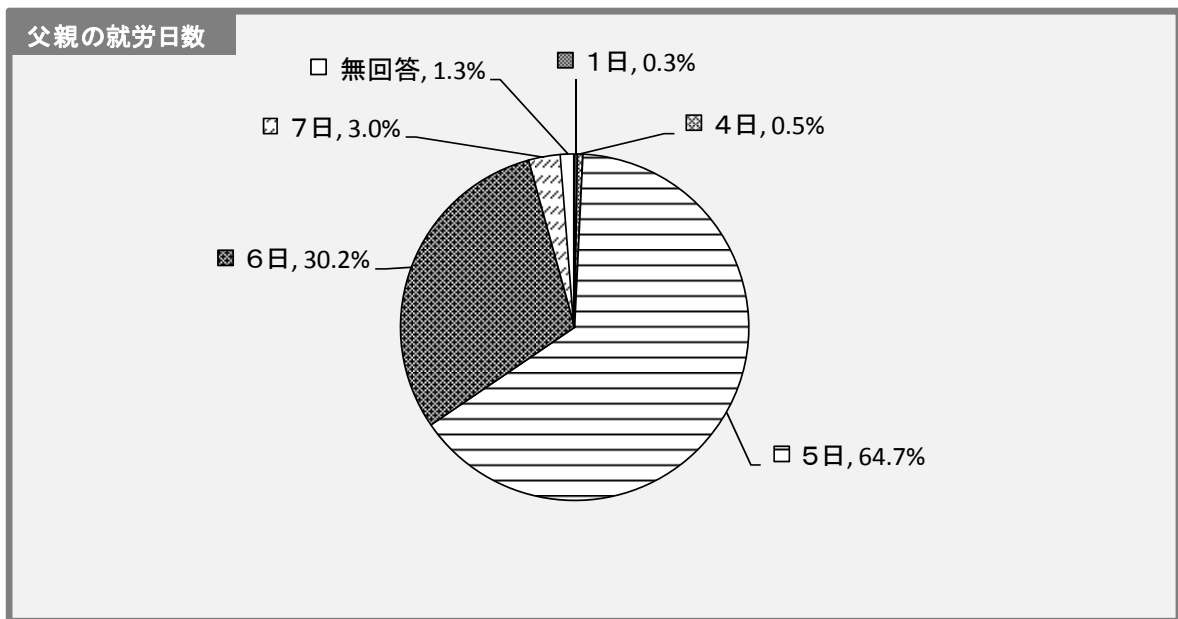
問 20 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(1) 就労日数、就労時間

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が60%以上を占め最も多く、次いで、「6日」が30.2%で続いています。

1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が55.4%を占め最も多くなっています。

図 2-18 父親の就労日数、就労時間（数値回答 n=397）

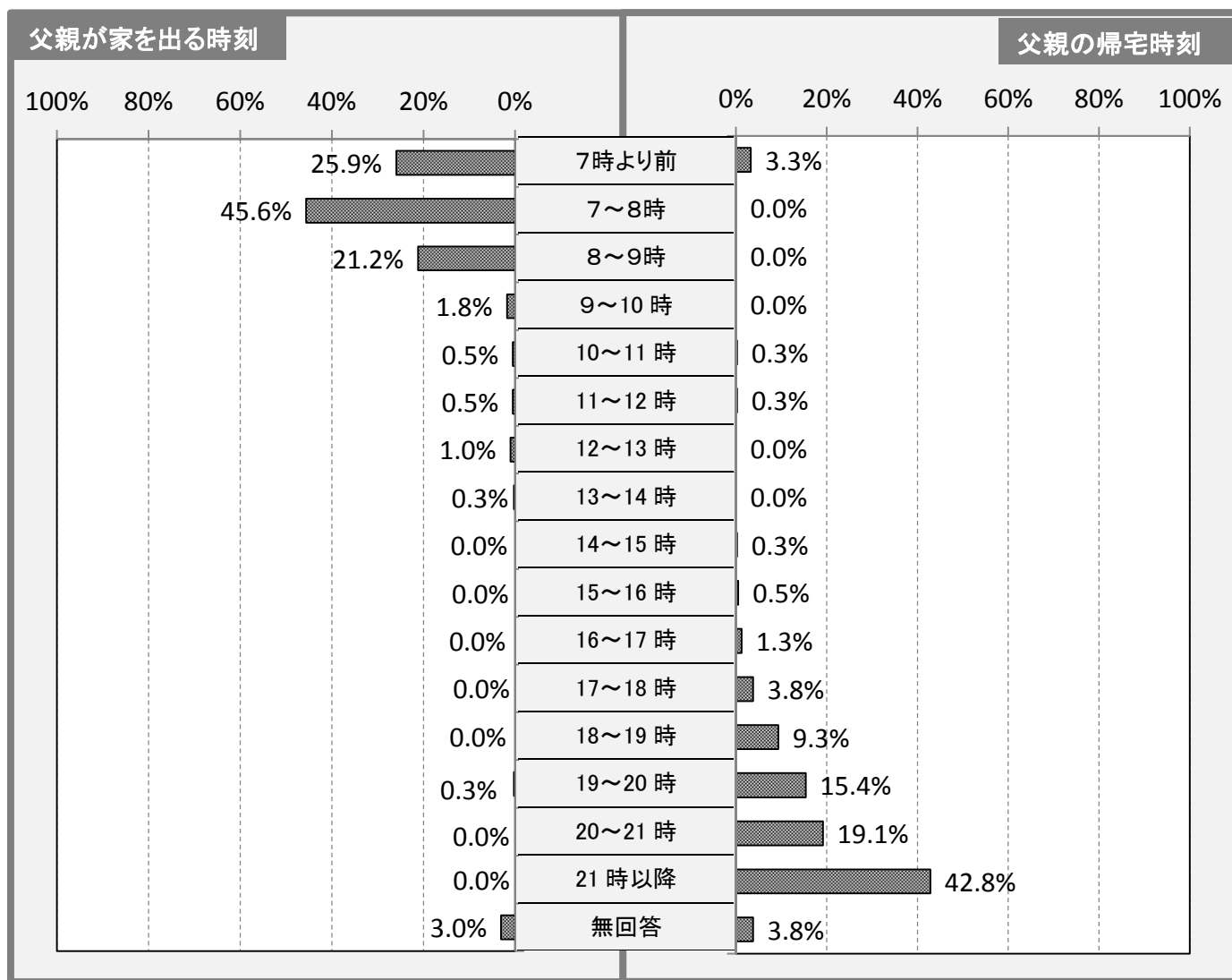


(2) 家を出る時刻、帰宅時刻

父親が家を出る時刻は、「7～8時」が45.6%で最も多く、「7時より前」が25.9%で続いています。

帰宅時間については、「21時以降」が42.8%で最も多く、「20～21時」が19.1%で続いています。

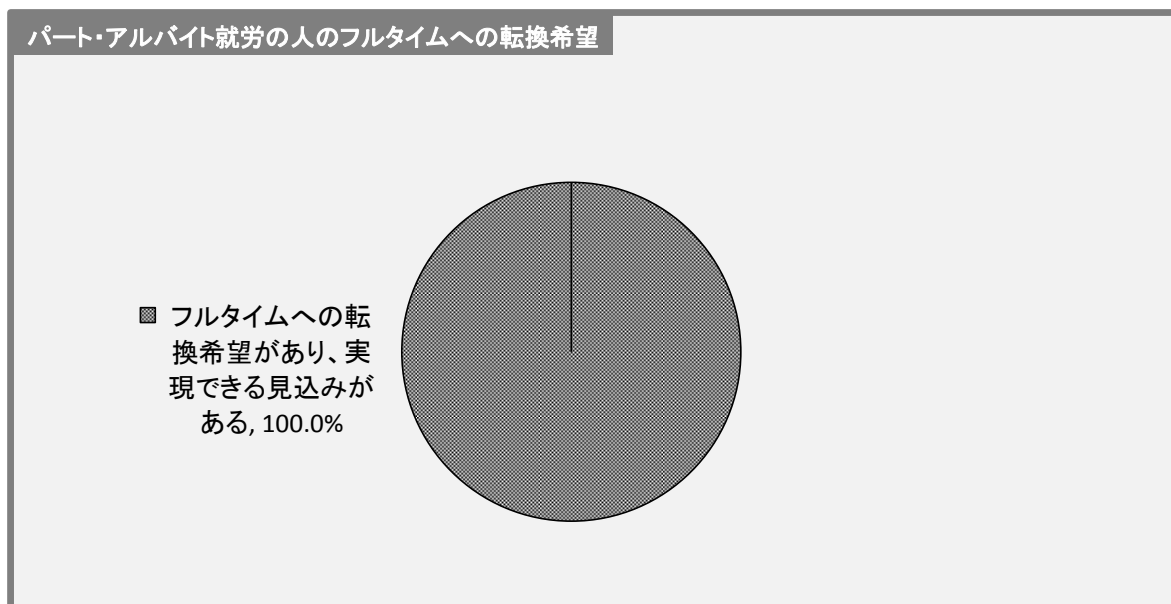
図 2-19 父親の家を出る時刻、帰宅時刻 (数値回答 n=397)



問 21 フルタイムへの転換希望はありますか。(問 19で「3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に○をつけた方)

現在パート・アルバイト等で就労中の人のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 100.0% (1人) となっています。

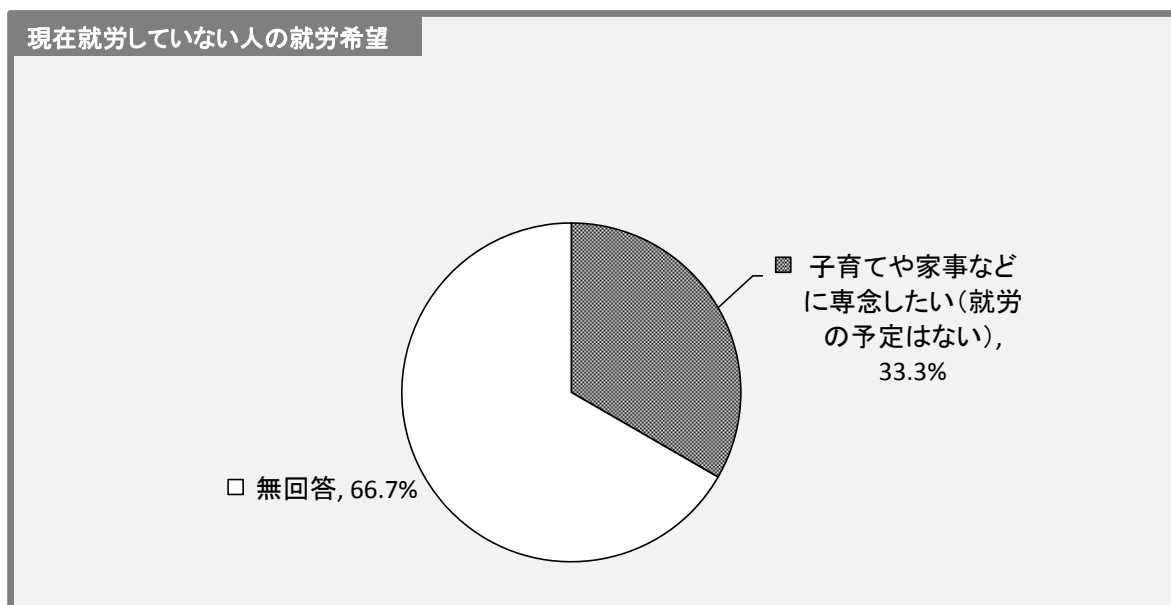
図 2-20 フルタイムへの転換希望 (単数回答 n=1)



問 22 就労したいという希望はありますか。(問 19 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」に〇をつけた方)

現在就労していない人の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 33.3% (1 人) となっています。

図 2-21 就労希望 (単数回答 n=3)



第3節 子育てと仕事との両立について

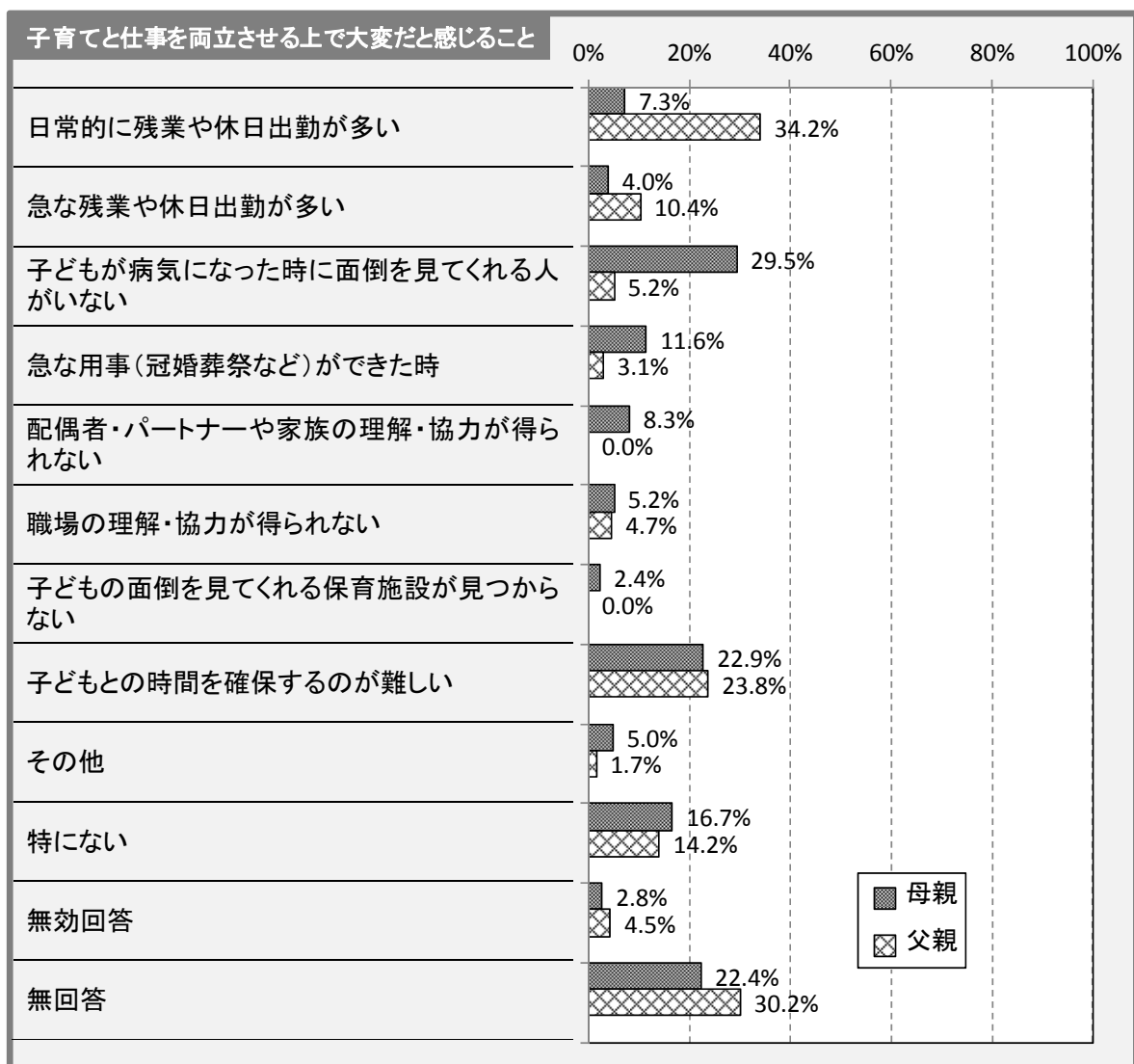
問 23 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じることはどのようなことですか。

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、「母親」では「子どもが病気になった時に面倒をみる人がいない」が29.5%で最も多く、次いで、「子どもとの時間を確保するのが難しい」(22.9%)、「急な用事(冠婚葬祭など)ができた時」(11.6%)と続いています。

「父親」では「日常的に残業や休日出勤が多い」が34.2%で最も多く、次いで「子どもとの時間を確保するのが難しい」(23.8%)が続いています。

「母親」の「子どもが病気になった時に面倒をみる人がいない」は「父親」を24.3ポイント上回っており、「父親」の「日常的に残業や休日出勤が多い」は「母親」を26.9ポイント上回っています。また、「母親」では「配偶者・パートナーや家族の理解・協力が得られない」と回答した人が8.3%あるのに対し、「父親」では0.0%となっています。

図 2-22 子育てと仕事を両立させるうえで大変だと感じること (複数回答・2つまで n=424)



第4節 放課後の過ごし方について

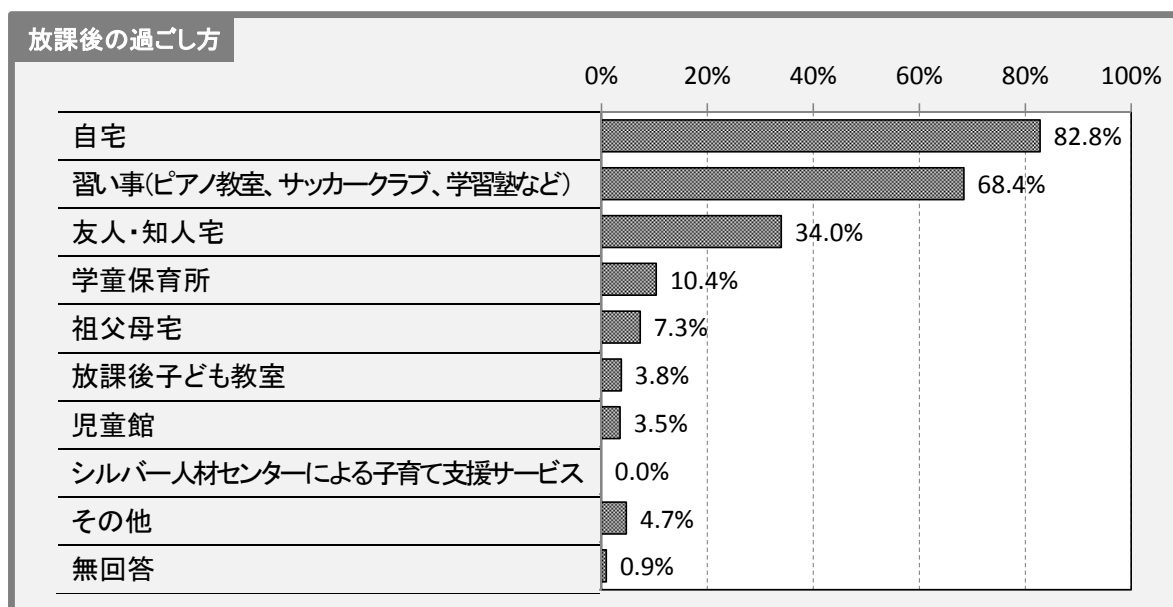
問 24 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

現在の子どもの放課後の過ごし方については、「自宅」が 82.8%で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（68.4%）、「友人・知人宅」（34.0%）と続いています。

一方、「学童保育所」は 10.4%、「放課後子ども教室」は 3.8%、「児童館」は 3.5%となっています。また、「シルバー人材センターによる子育て支援サービス」は 0.0%となっています。

放課後の過ごし方別の平均日数は、「学童保育所」が 4.0 日、「自宅」が 3.2 日、「習い事」が 2.4 日、「祖父母宅」が 2.0 日となっています。

図 2-23 放課後の過ごし方（複数回答・いくつでも n=424）

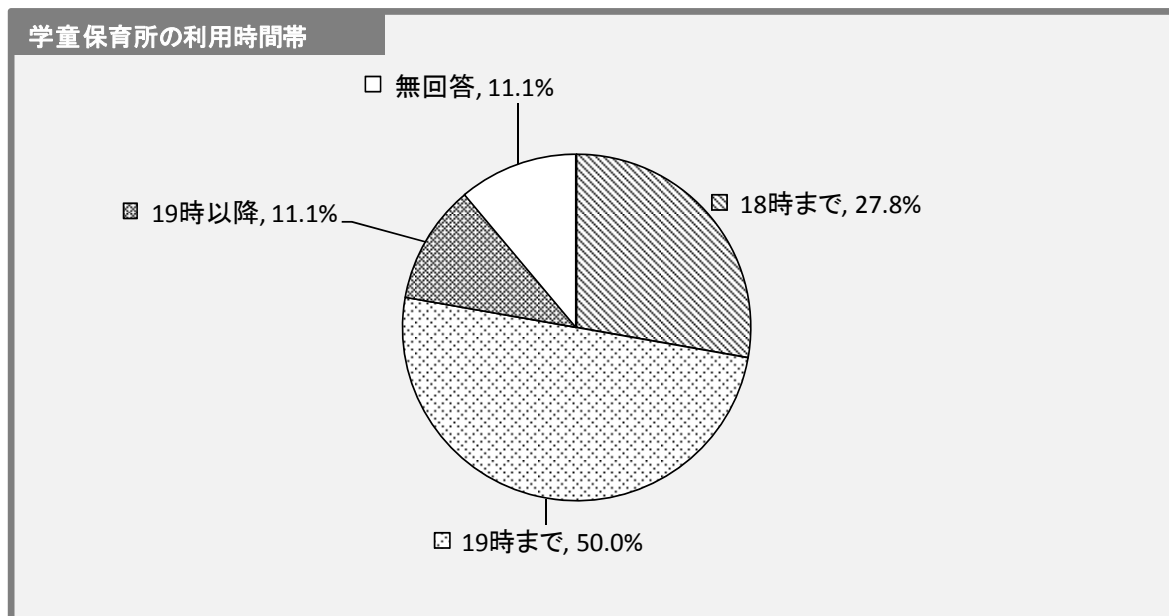


【放課後の過ごし方別平均日数（週当たり）】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
自宅	286	916	3.2
祖父母宅	27	55	2.0
友人・知人宅	139	241	1.7
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	273	664	2.4
児童館	14	18	1.3
放課後子ども教室	16	17	1.1
学童保育所	18	72	4.0
シルバー人材センターによる子育て支援サービス	0	0	0.0
その他	20	49	2.0

学童保育所の利用時間は、「19時まで」が50.0%で最も多く、次いで、「18時まで」(27.8%)、「19時以降」(11.1%)となっています。

図2-24 学童保育所の利用時間 (数値回答 n=18)

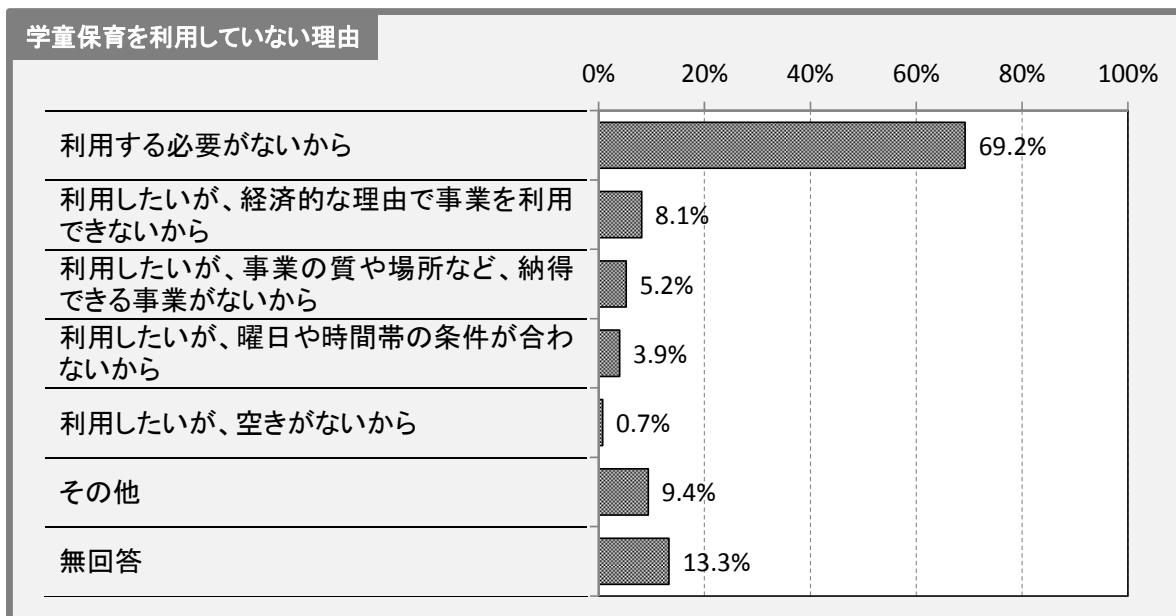


問 25 利用していない理由は何ですか。(問 24 で「7. 学童保育所」に○を付けなかった人)

学童保育所を利用していない理由は、「利用する必要がないから」が 69.2%で最も多くなっています。一方、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないから」(8.1%)や「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないから」(5.2%)、「利用したいが、曜日や時間帯の条件が合わないから」(3.9%)などの内容や料金、条件等が理由で利用していない人もあります。

また、「利用したいが、空きがないから」は 0.7% (3人) となっています。

図 2-25 学童保育所を利用していない理由 (複数回答・いくつでも n=406)



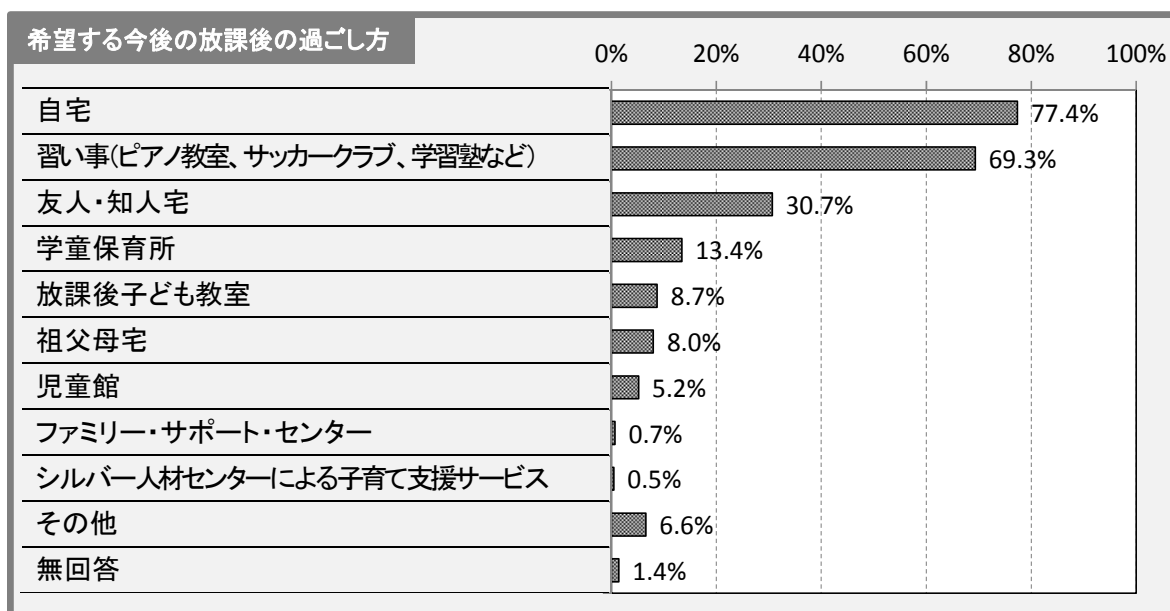
問 26 宛名のお子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

どのような場所で放課後を過ごさせたいかについては、「自宅」が77.4%で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（69.3%）、「友人・知人宅」（30.7%）と続いています。

一方、「学童保育所」は13.4%、「放課後子ども教室」は8.7%、「児童館」は5.2%、「シルバー人材センターによる子育て支援サービス」は0.5%（2人）となっています。

希望する放課後の過ごし方別の平均日数は、「学童保育所」が4.2日、「自宅」が3.4日、「ファミリー・サポート・センター」が3.0日、「習い事」が2.5日、「祖父母宅」が2.3日となっています。

図 2-26 希望する今後の放課後の過ごし方（複数回答・いくつでも n=424）

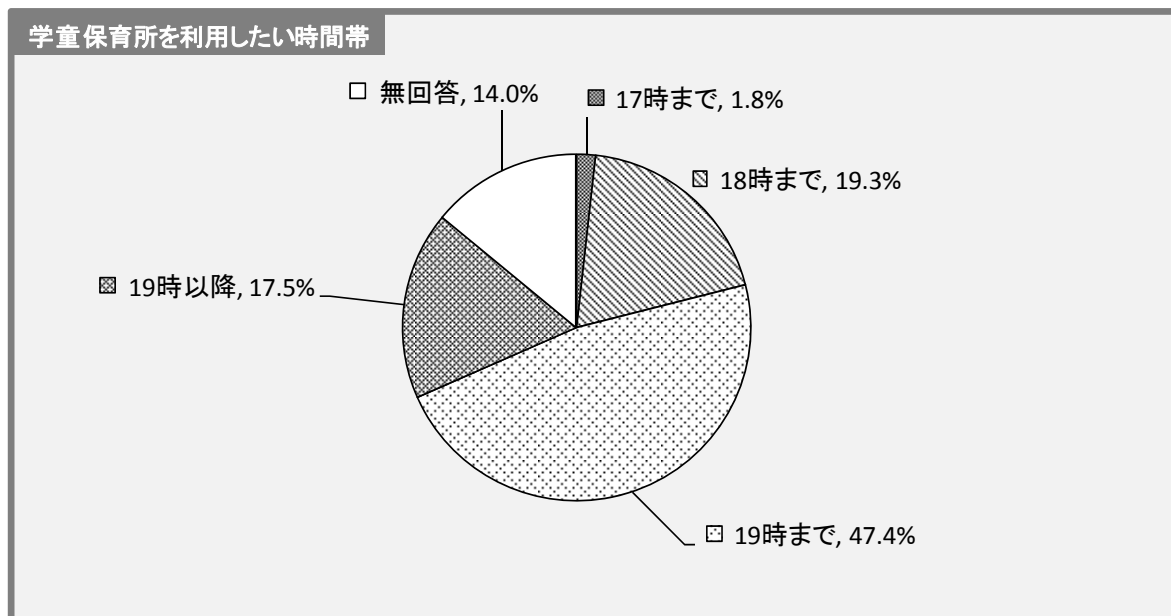


【希望する放課後の過ごし方別平均日数（週当たり）】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
自宅	302	1012	3.4
祖父母宅	32	73	2.3
友人・知人宅	122	201	1.7
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	282	694	2.5
児童館	19	29	1.5
放課後子ども教室	34	44	1.3
学童保育所	48	201	4.2
シルバー人材センターによる子育て支援サービス	2	2	1.0
ファミリー・サポート・センター	3	9	3.0
その他	26	61	2.0

学童保育所の利用希望時間は、「19 時まで」が 47.4%で最も多く、次いで、「18 時まで」(19.3%)、「19 時以降」(17.5%) となっています。

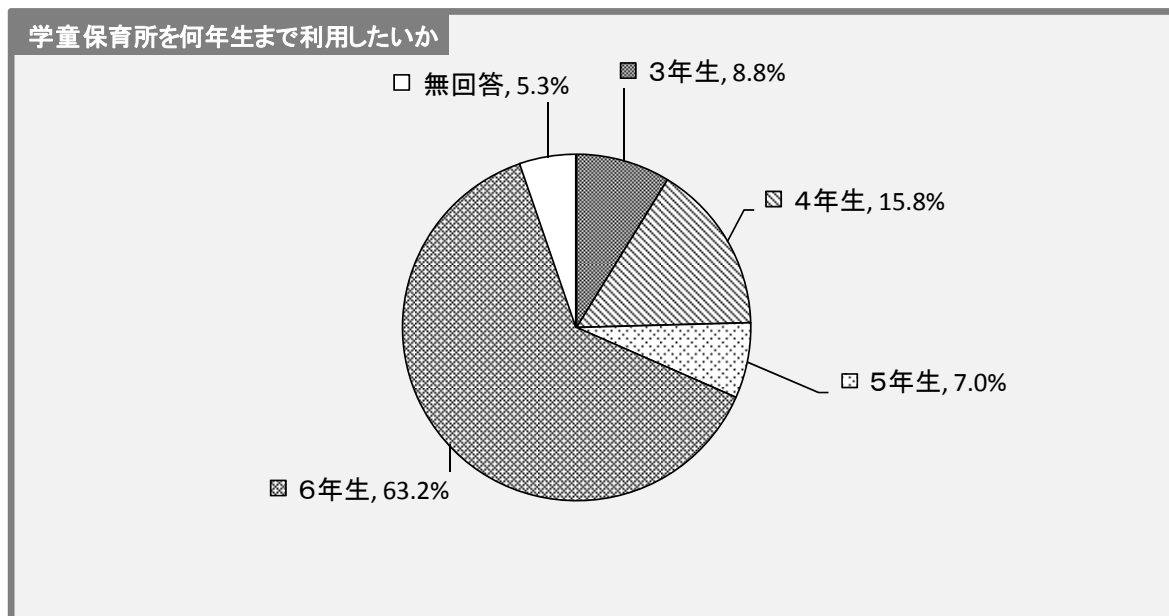
図 2-27 学童保育所の利用希望時間 (数値回答 n=57)



問 27—① 宛名のお子さんについて、何年生になるまで学童保育所を利用したいですか。

学童保育所の利用を希望する学年については、「6年生」までが63.2%と最も多く、「4年生」までが15.8%、「3年生」までが8.8%となっています。

図 2-28 学童保育所の利用を希望する学年（数値回答 n=57）



問 27—② 宛名お子さんについて、(1) 土曜日と (2) 日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

土曜と日曜・祝日の学童保育所の利用希望については、土曜日は、「利用する必要はない」が 61.4%を占めており、「利用したい」は 31.6%となっています。また、利用したい時間帯は、「18 時以降」が 61.1%で最も多く、次いで「18 時まで」が 33.3%となっています。

日曜・祝日は、「利用する必要はない」が 75.4%を占めており、「利用したい」は 14.0%となっています。また、利用したい時間帯は、「18 時以降」が 62.5%で最も多く、次いで「18 時まで」が 37.5%となっています。

図 2-29 土曜と日曜・祝日の学童保育所の利用希望 (単数回答 n=57)

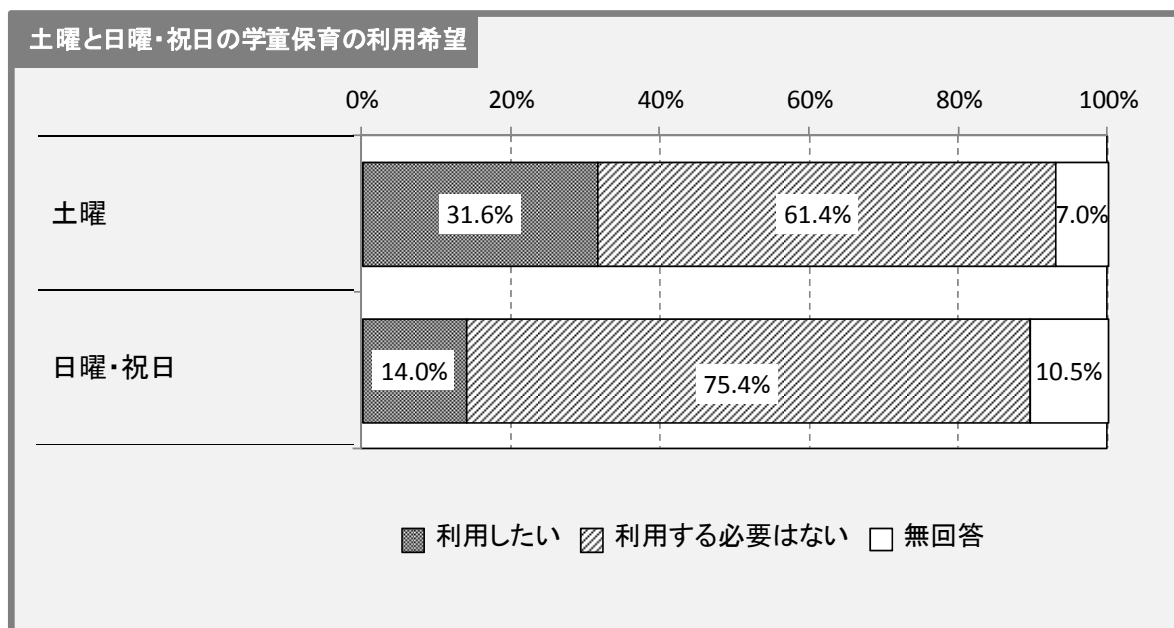


図 2-30 土曜日の学童保育所の利用希望時間帯（数値回答 n=18）

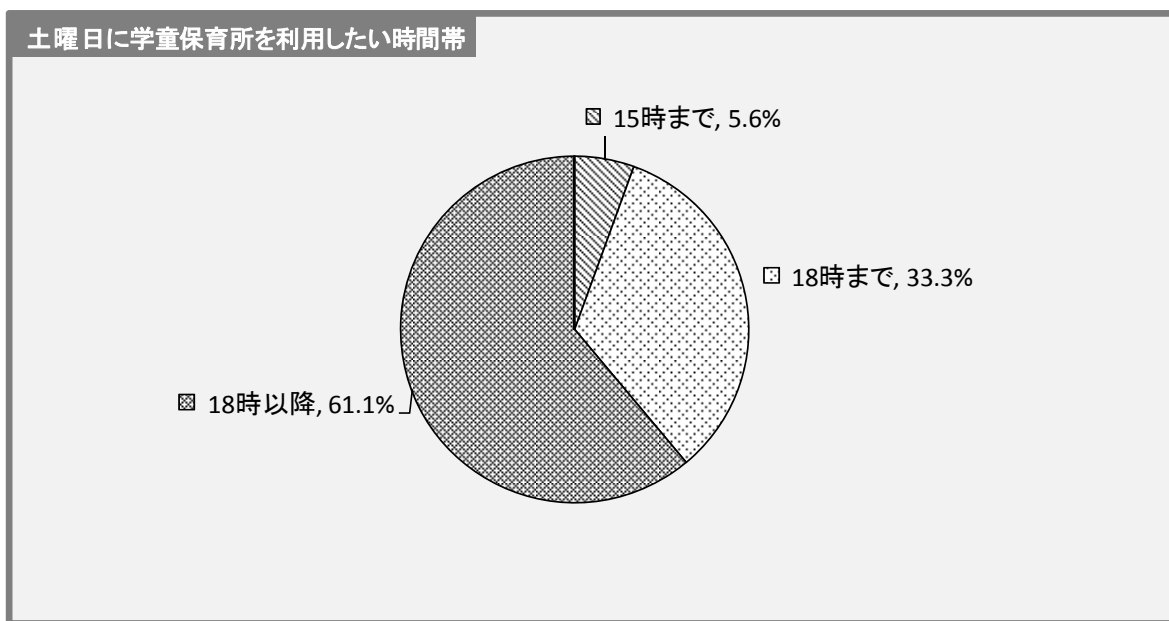
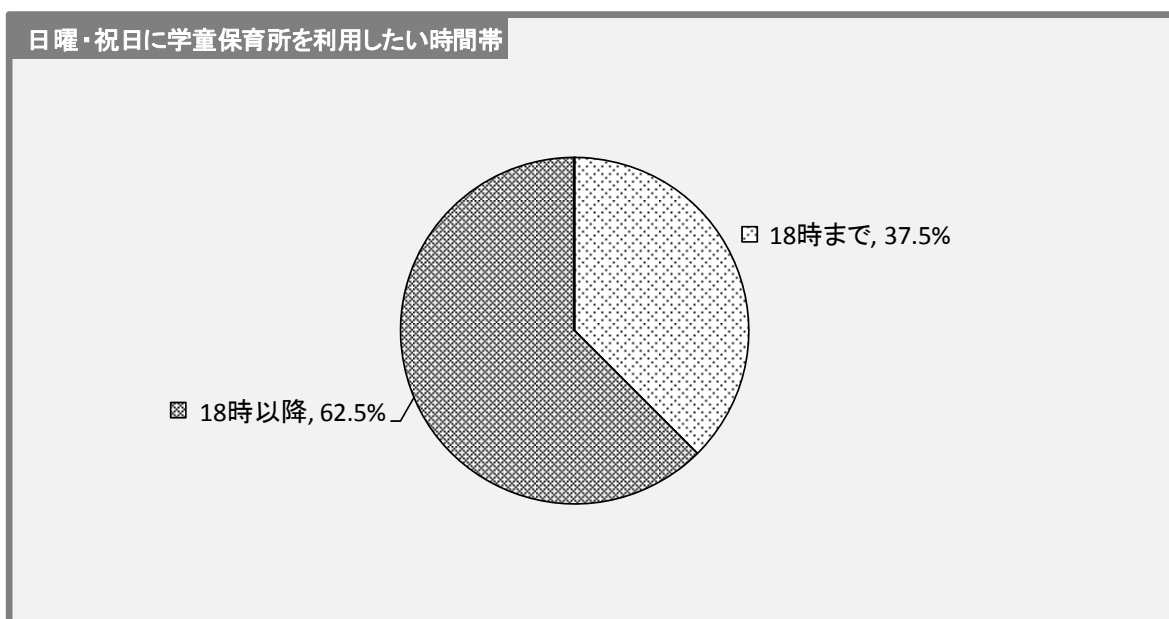


図 2-31 日曜・祝日の学童保育所の利用希望時間帯（数値回答 n=8）

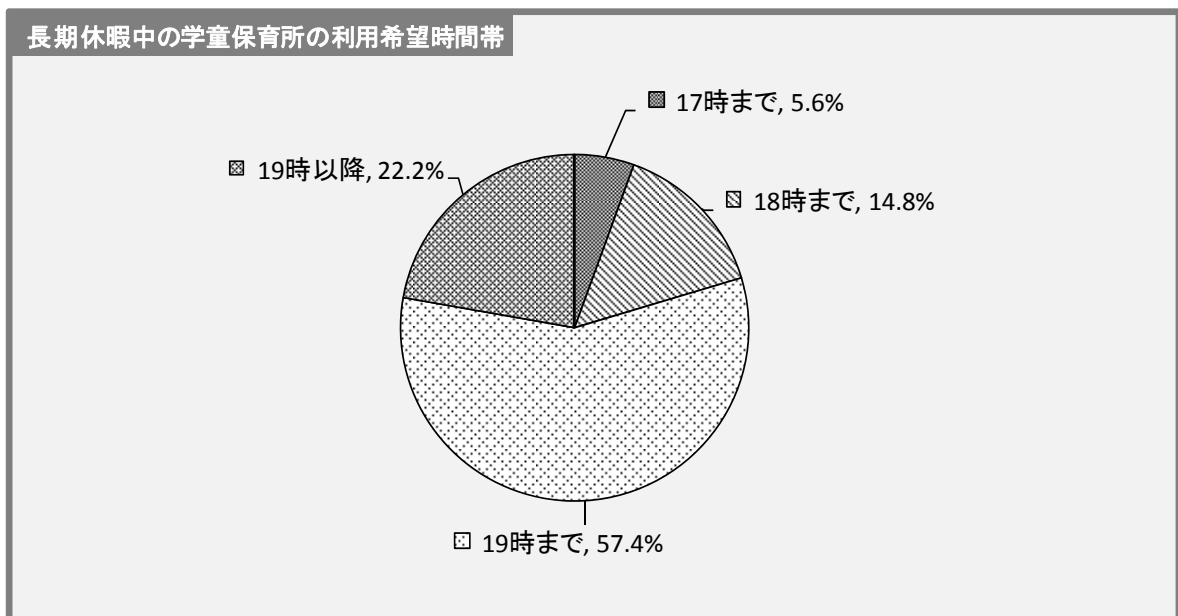
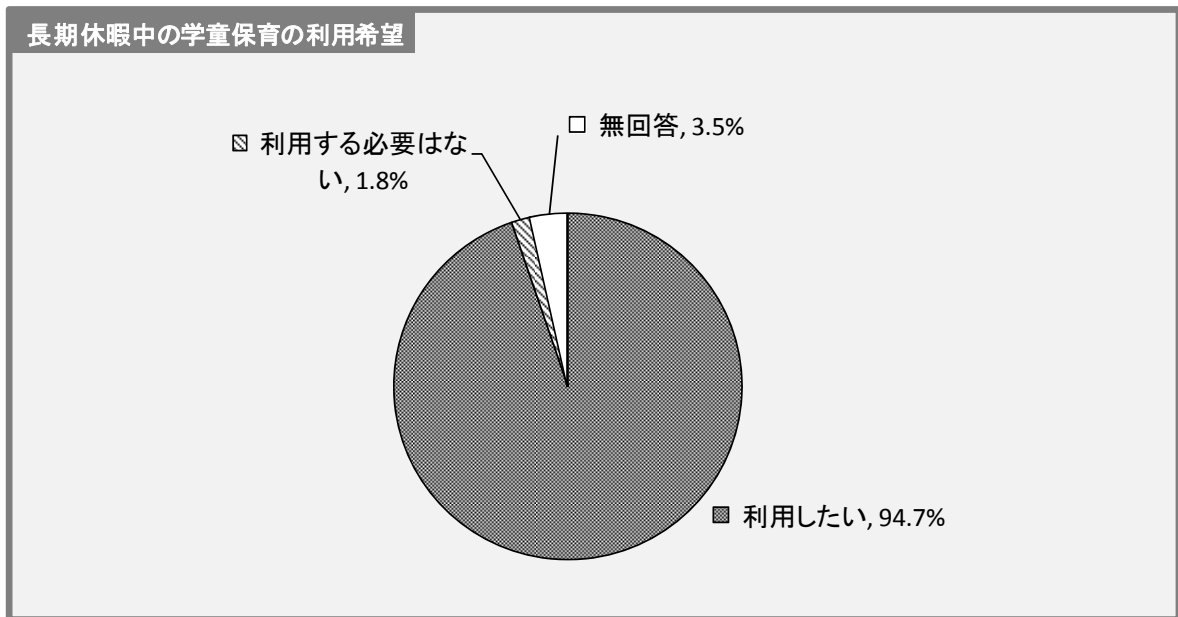


問 27—③ 宛名お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。

長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望については、「利用したい」が94.7%を占めています。一方、「利用する必要はない」は僅かに1.8%（1人）となっています。

利用を希望する時間帯は、「19時まで」が57.4%、「19時以降」が22.2%となっています。

図 2-32 長期の休暇期間中の学童保育所の利用意向と希望する時間帯（単数回答、数値回答 n=57）

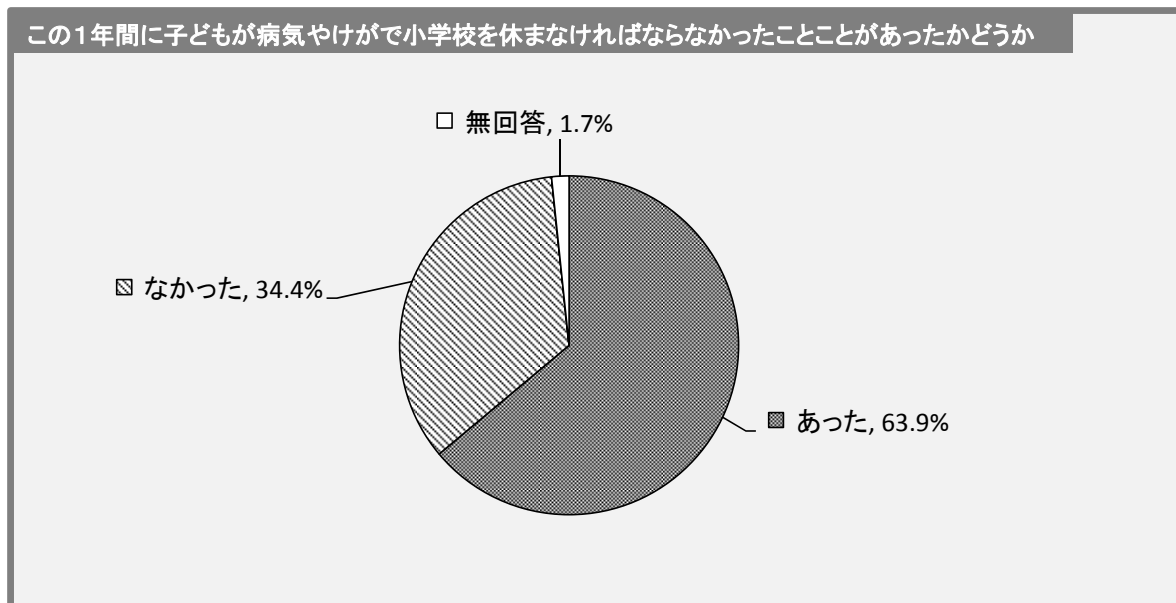


第5節 病気の際の対応について

問 28 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」は63.9%、「なかった」は34.4%となっています。

図 2-33 病気やけがで小学校を休んだ経験（単数回答 n=424）

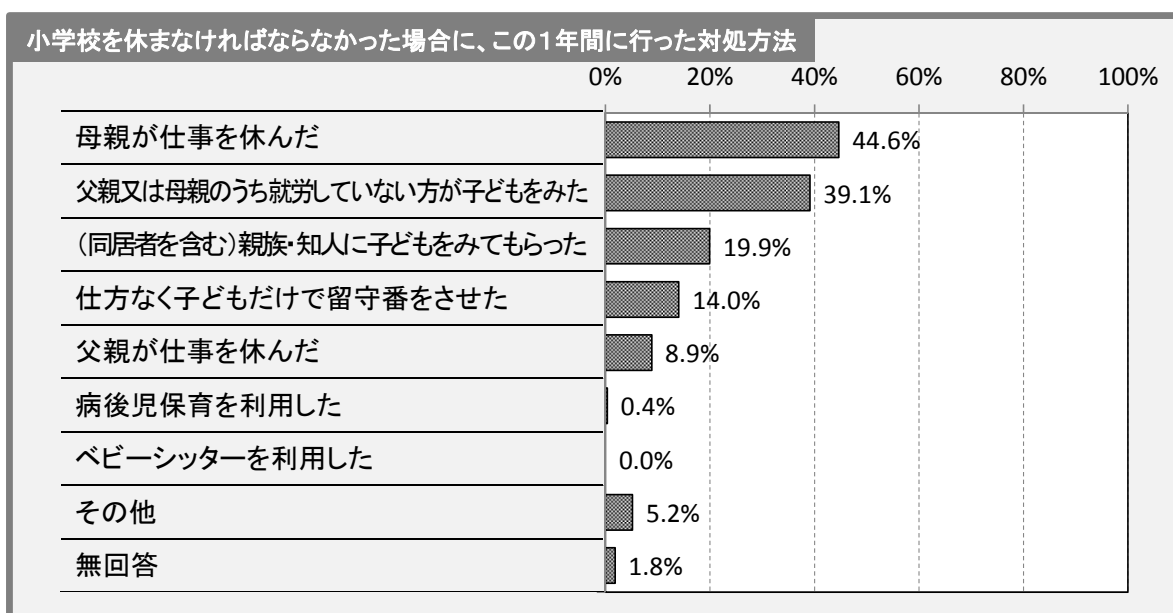


問 29 お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法は何ですか。(問 28 で「1. あった」に○をつけた方)

子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 44.6%で最も多く、次いで、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(39.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(19.9%)と続いています。

対処法別の日数は、「母親が仕事を休んだ」と「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」平均日数が 3.2 日、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が 2.9 日となっています。

図 2-34 小学校を休まなければならなかった場合の対処方法 (複数回答・いくつでも n=271)



【対処法別平均日数 (年当たり)】

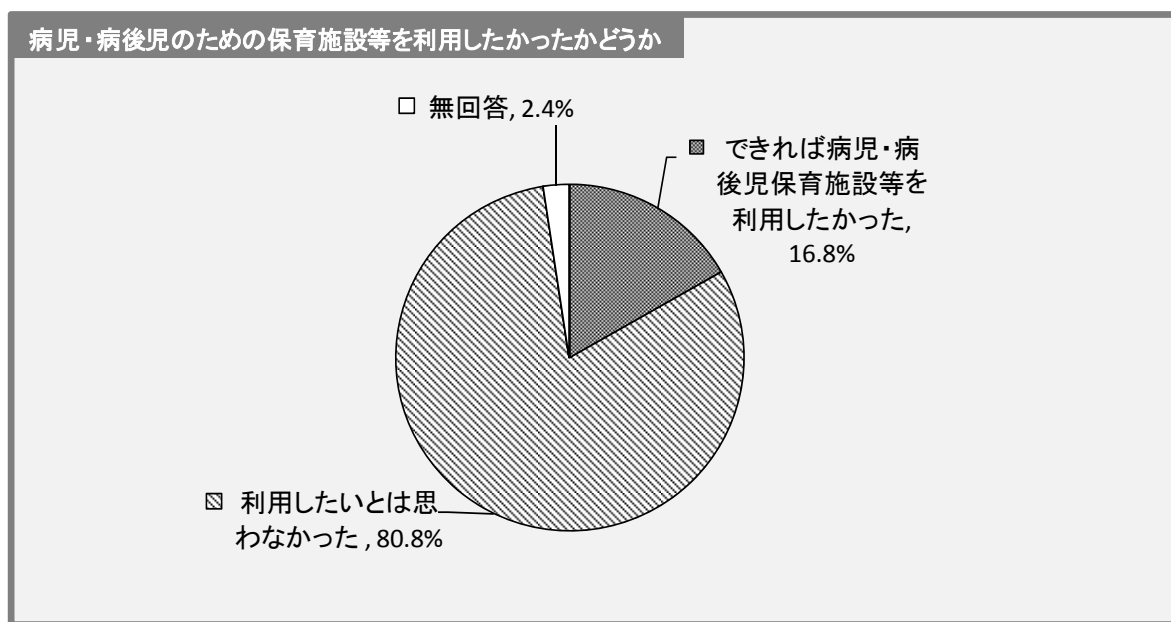
対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
父親が仕事を休んだ	24	48	2.0
母親が仕事を休んだ	114	369	3.2
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	50	144	2.9
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	92	293	3.2
病児・病後児の保育を利用した	1	2	2.0
ベビーシッターを利用した	0	0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	36	62	1.7
その他	13	42	3.2

問 30—① その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したかったですか。(問 29 で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」いずれかに○をつけた方)

仕事を休んだ際に病児・病後児のための保育施設等を「できれば病児・病後時保育施設等を利用したかった」は 16.8%となっており、「利用したいとは思わなかった」が 80.8%を占めています。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」平均日数は、3.9日となっています。

図 2-35 病児・病後児のための保育施設等を利用したかったかどうか (単数回答 n=125)



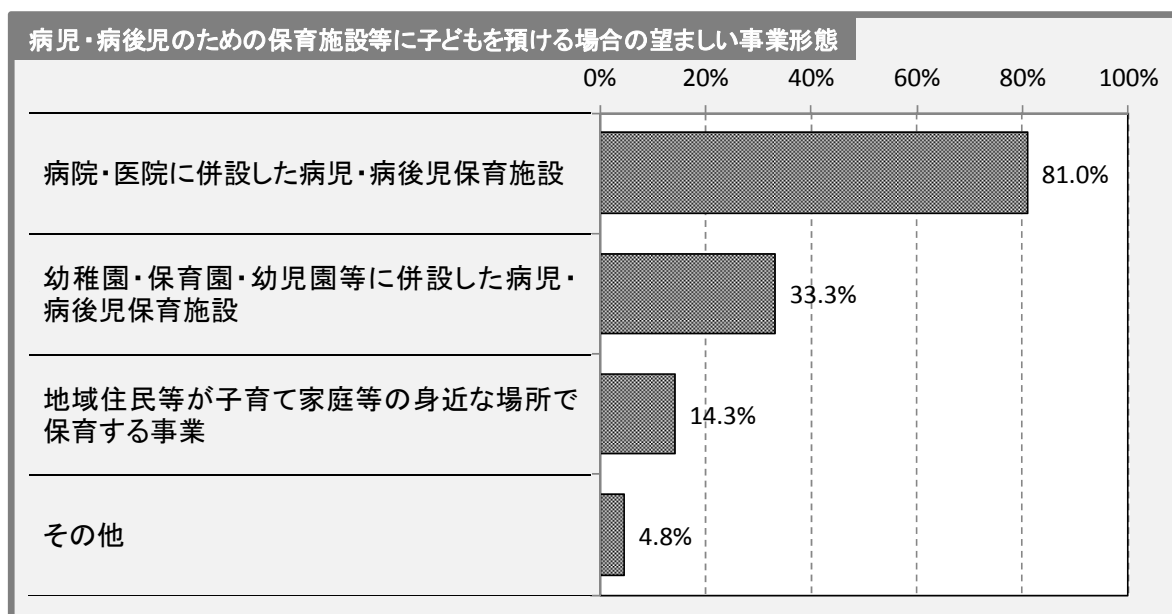
【病児・病後児保育施設等を利用したかった平均日数 (年当たり)】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった	20	78	3.9

問 30-② 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(問 30-①で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方)

望ましい事業形態については、「病院・医院に併設した病児・病後児保育施設」を希望する人が81.0%で最も多く、「幼稚園・保育園・幼児園等に併設した病児・病後児保育施設」が33.3%で続いており、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」は14.3%となっています。

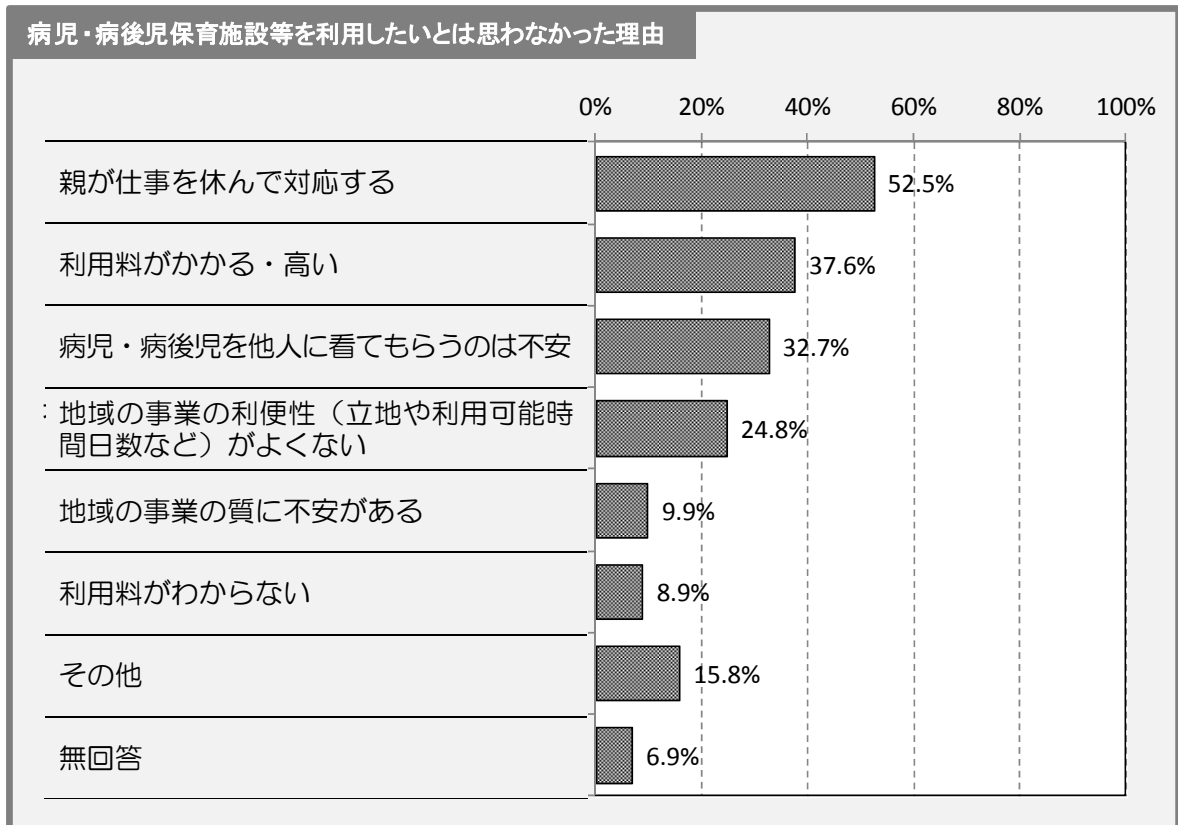
図 2-36 望ましい事業形態 (複数回答・いくつでも n=21)



問 30-③ そう思われる理由は何ですか。(問 30-①で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方)

病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わなかった理由は、「親が仕事を休んで対応する」が52.5%で最も多く、次いで、「利用料がかかる・高い」(37.6%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(32.7%)と続いています。

図 2-37 利用したいとは思わなかった理由 (複数回答・いくつでも n=101)

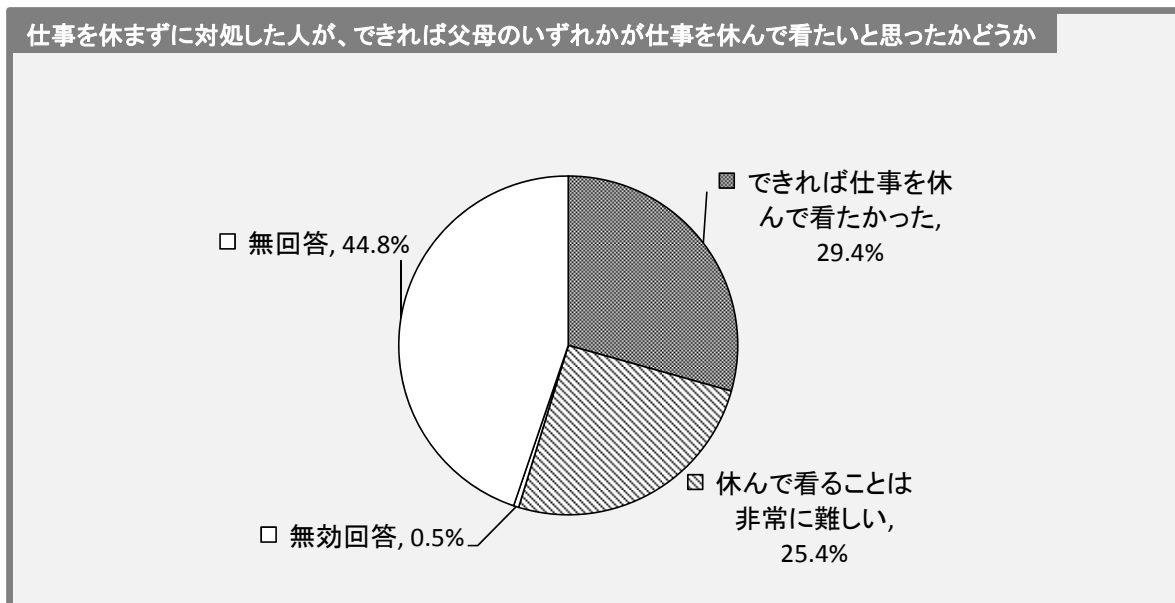


問 31-① その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 (問 29 で「3」～「8」のいずれかに○をつけた方)

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかどうかについては、「できれば仕事を休んで看たかった」が約 30%を占めています。一方、「休んで看ることは非常に難しい」は 25.4%あります。

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たかった」平均日数は 2.2 日となっています。

図 2-38 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかどうか (単数回答 n=201)



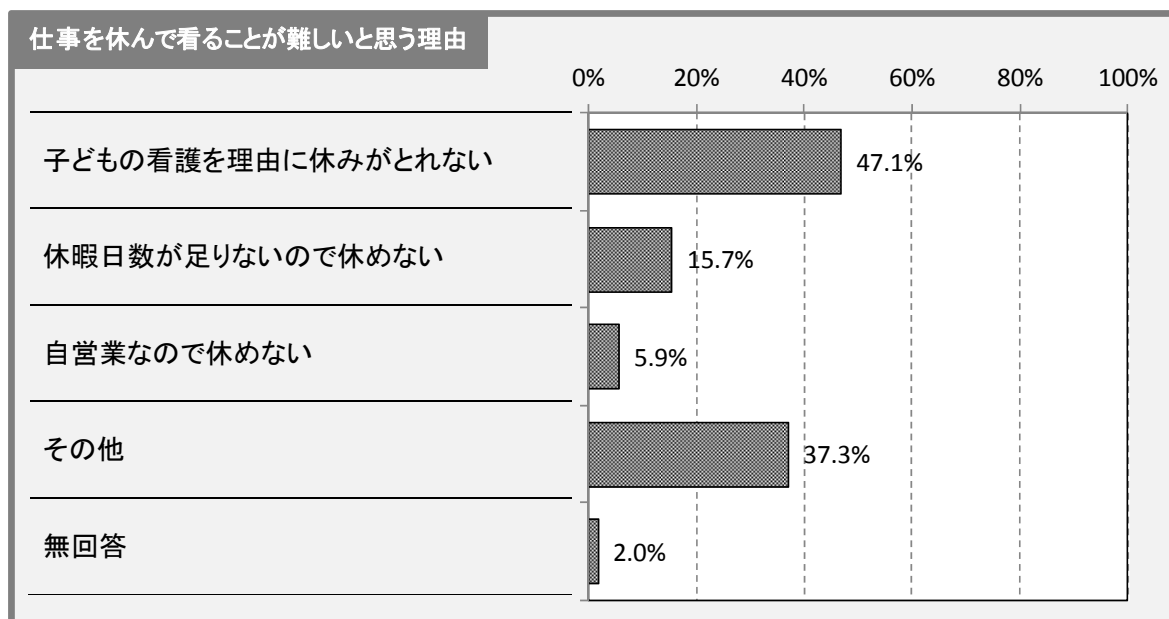
【できれば仕事を休んで看たいと思った平均日数 (年当たり)】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
できれば仕事を休んで看たかった	50	108	2.2

問 31-② そう思われる理由は何ですか。(問 31-①で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方)

「休んで見ることは非常に難しい」と思う理由については、「子どもの看護を理由に休みが取れない」が50%近くあり、「休暇日数が足りないので休めない」、「自営業なので休めない」と続いています。

図 2-39 「休んで見ることは非常に難しい」と思う理由 (複数回答・いくつでも n=51)



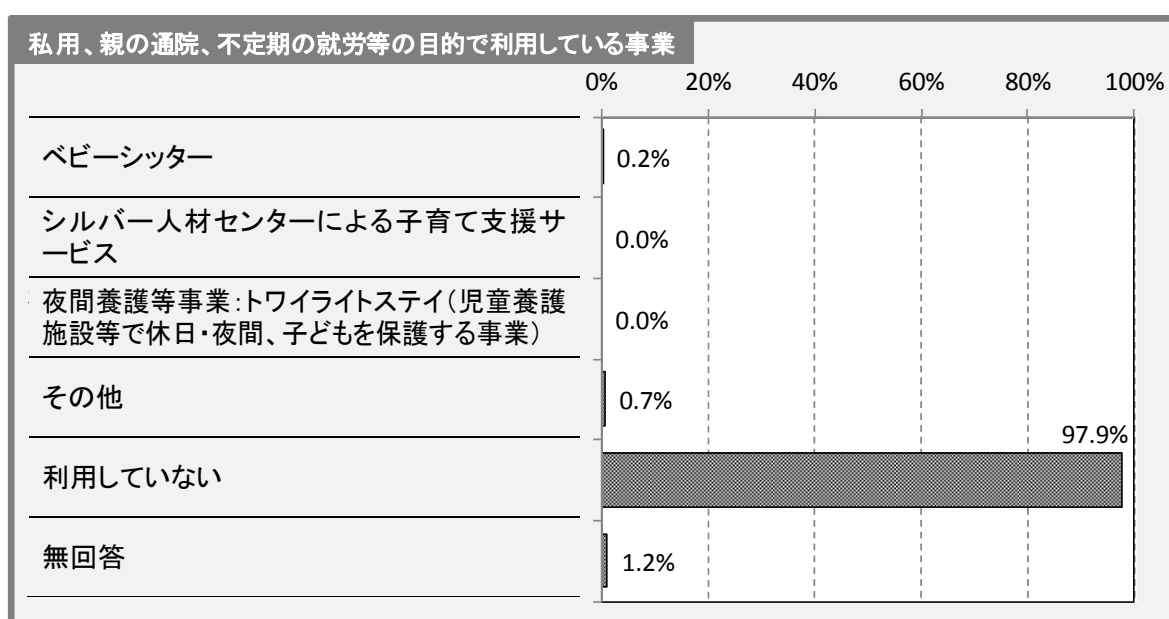
第6節 不特定の教育・保育事業の利用について

問 32 学童保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で利用している事業はありますか。

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で利用している事業は、「ベビーシッター」が1人と「その他」が3人あるだけで、「利用していない」が97.9%を占めています。

利用している事業の平均日数は、「ベビーシッター」が12.0日、「その他」が2.0日となっています。

図 2-40 不定期で利用している事業（複数回答・いくつでも n=424）



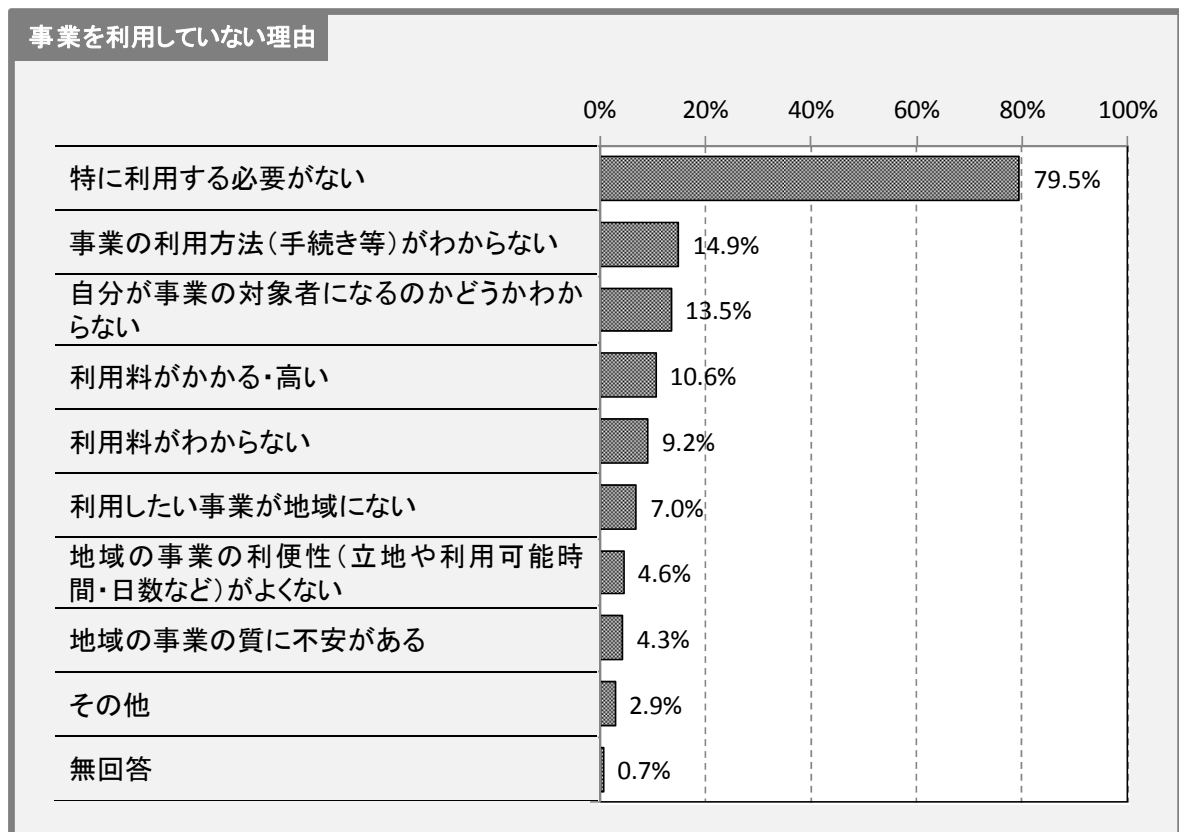
【不定期に利用している事業の利用平均日数（年当たり）】

事業名	数値回答者数	合計日数	平均日数
シルバー人材センターによる子育て支援サービス	0	0	0.0
夜間養護等事業:トワイライトステイ	0	0	0.0
ベビーシッター	1	12	12.0
その他	1	2	2.0

問 32-① 現在利用していない理由は何ですか。(問 32 で「5. 利用していない」に○をつけた方)

不定期で教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 79.5%で最も多くなっています。一方、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.9%)や、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」(13.5%)、「利用料がわからない」(9.2%)など、情報不足によって利用していないと思われる人も 10%前後あります。また、「利用料がかかる・高い」(10.6%)や「利用したい事業が地域にない」(7.0%)、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(4.6%)、「地域の事業の質に不安がある」(4.3%)など、内容や条件等によって利用していないと思われる人も僅かにあります。

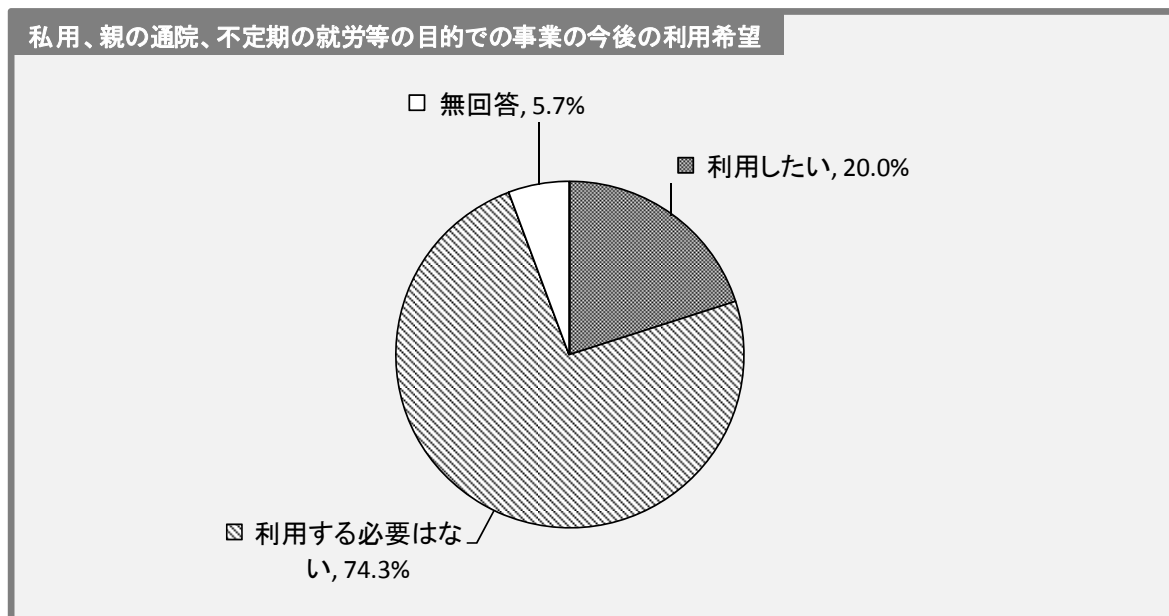
図 2-41 不定期で事業を利用していない理由(複数回答・いくつでも n=415)



問 33 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後事業を利用したいと思いますか。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で今後事業を「利用したい」は 20.0%、「利用する必要はない」は 74.3%となっています。

図 2-42 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用意向（単数回答 n=424）

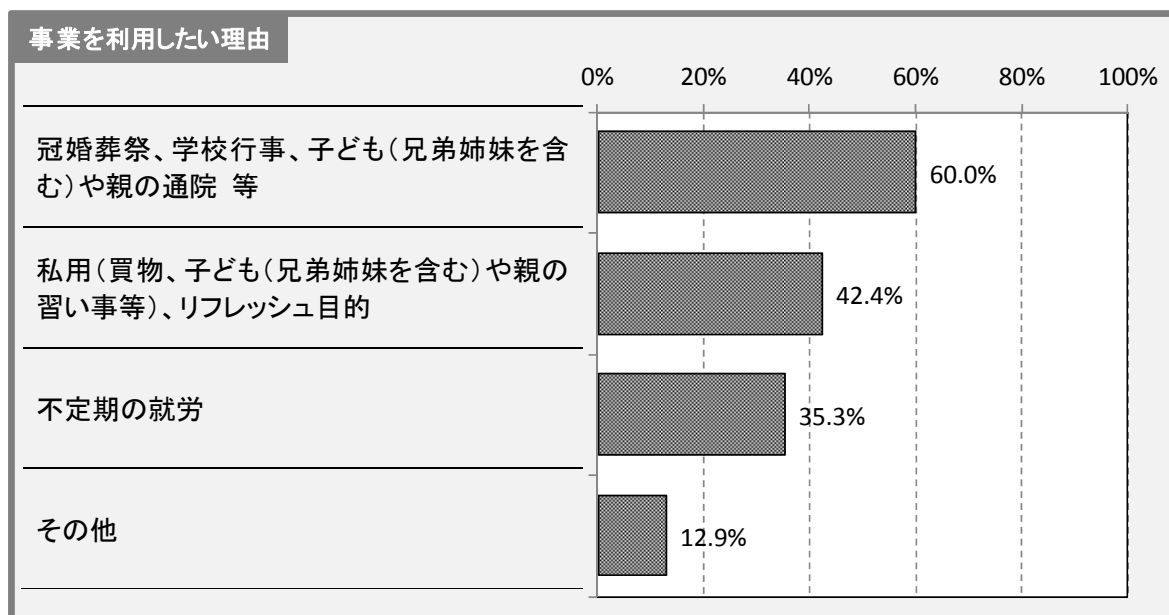


問 33—① 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する場合、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。(問 33 で「1. 利用したい」に〇をつけた方)

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する場合、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」で事業を利用したい人が 60.0%、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」で事業を利用したい人は 42.4%、「不定期の就労」で事業を利用したい人は 35.3%となっています。

事業利用の目的別平均日数は、「その他」が 33.4 日、「不定期の就労」が 27.9 日、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 13.6 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が 7.5 日となっています。

図 2-43 事業を希望する理由と日数(複数回答・いくつでも n=85)



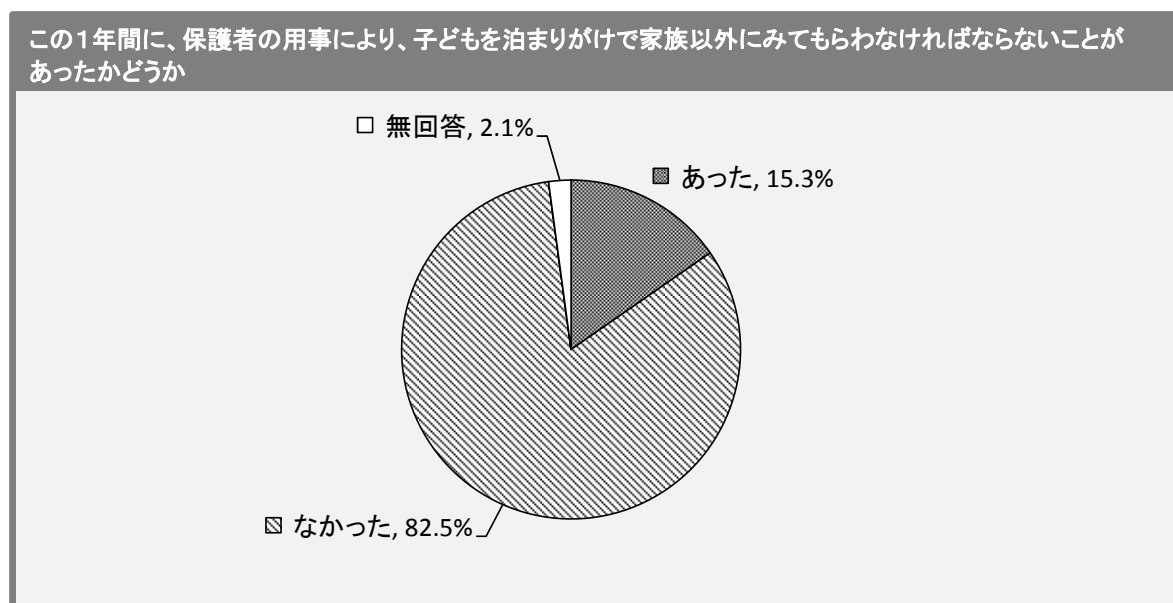
【目的別利用希望平均日数(年当たり)】

	数値回答者数	合計日数	平均日数
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	34	462	13.6
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	46	346	7.5
不定期の就労	24	670	27.9
その他	5	167	33.4

問 34 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

この1年間に、保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」は15.3%、「なかった」は82.5%となっています。

図 2-44 保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験（単数回答 n=424）

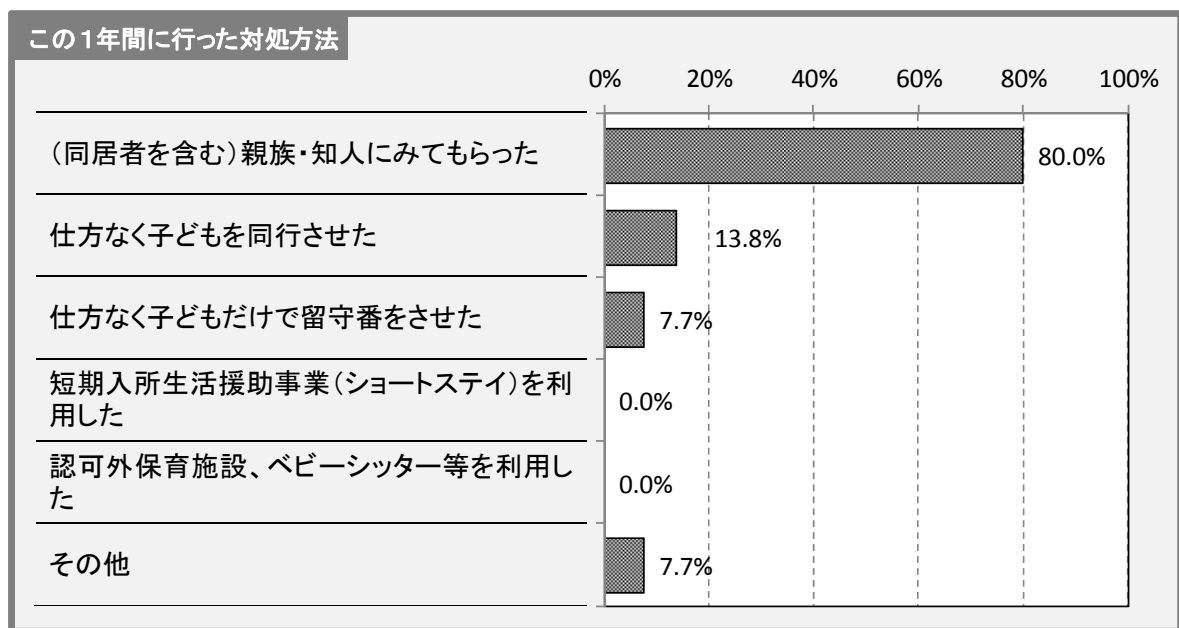


問 34-① この1年間に行った対処方法は何ですか。(問34で「1. あった」に○をつけた方)

この1年間に行った対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 80.0%で最も多くなっており、「仕方なく子どもを同行させた」が 13.8% (9人)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 7.7% (5人) となっています。また、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)」や「認可外保育施設、ベビーシッター等」の利用者はありませんでした。

対処方法別の平均日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 4.5 日、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 2.7 日、「仕方なく子どもを同行させた」が 1.8 日、「その他」が 3.0 日となっています。

図 2-45 この1年間に行った対処方法 (複数回答・いくつでも n=65)



【対処法別平均日数 (年当たり)】

対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	49	220	4.5
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0	0	0.0
2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0	0.0
仕方なく子どもを同行させた	5	9	1.8
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	8	2.7
その他	1	3	3.0

第7節 市の子育て支援全般について

問 35 現在までに、希望した時期に、希望した子育て支援サービスを利用することができましたか。

希望どおりに子育て支援サービスを利用できたかどうかについては、「利用できた」は 20.5%、「育児休業を切り上げるなど、調整して利用できた」が 3.1%となっており、合わせて 23.6%の人がほぼ希望どおりに子育て支援サービスを利用しています。一方、「利用できなかった」は 12.3%あります。

また、「利用する必要がなかった(希望しなかった)」が約 60%を占め最も多くなっています。

平成 21 年に実施した調査結果と比較すると、「利用できた」が 8.8 ポイント減っており、「利用できなかった」も 1.2 ポイント減っています。

図 2-46 希望どおりに子育て支援サービスを利用できたかどうか(単数回答 n=424)

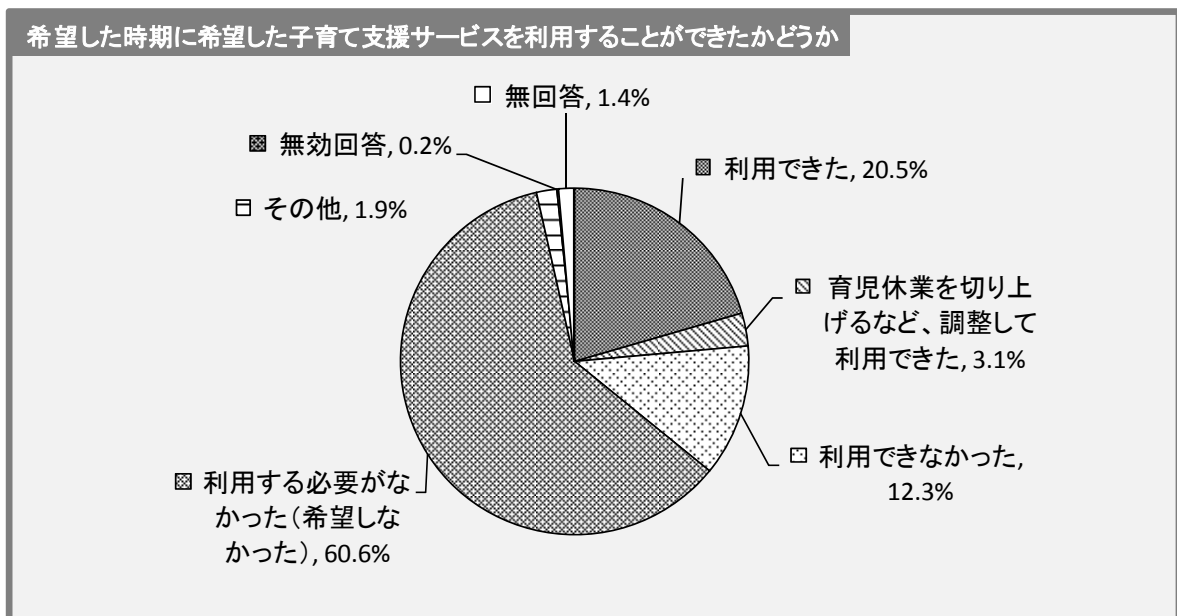
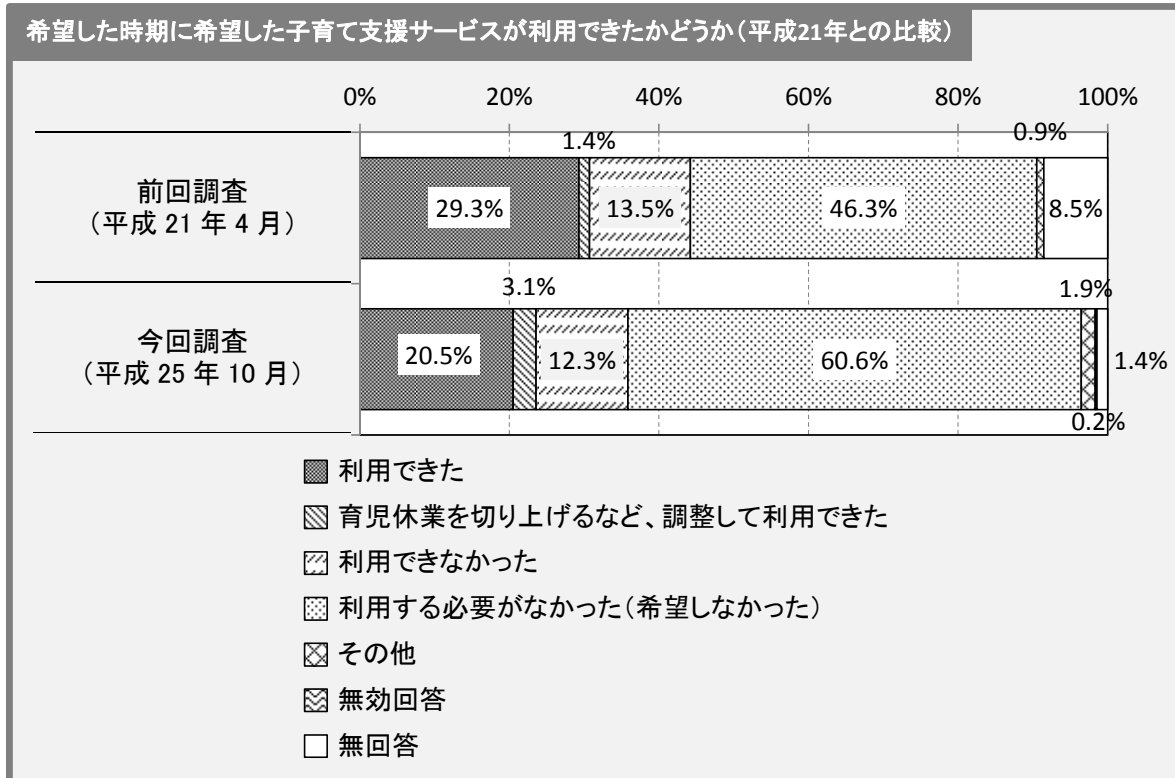


図 2-47 希望どおりに子育て支援サービスを利用できたかどうか 経年比較（平成 21 年調査 n=423）



問 36 子どもを育てる場所を自由に選べるとしたら、今後も栗東市で育てたいと思いますか。

今後も栗東市で子育てしたいかどうかについては、「栗東市で育てたい」と思う人が約 60%に上り多くなっています。一方、「栗東市では育てたくない」と思う人は約 40%となっています。

平成 21 年に実施した調査結果と比較すると、「栗東市で育てたい」が 8.9 ポイント減っており、「栗東市では育てたくない」が 9.1 ポイント増えています。

図 2-48 今後も栗東市で子育てしたいかどうか（単数回答 n=424）

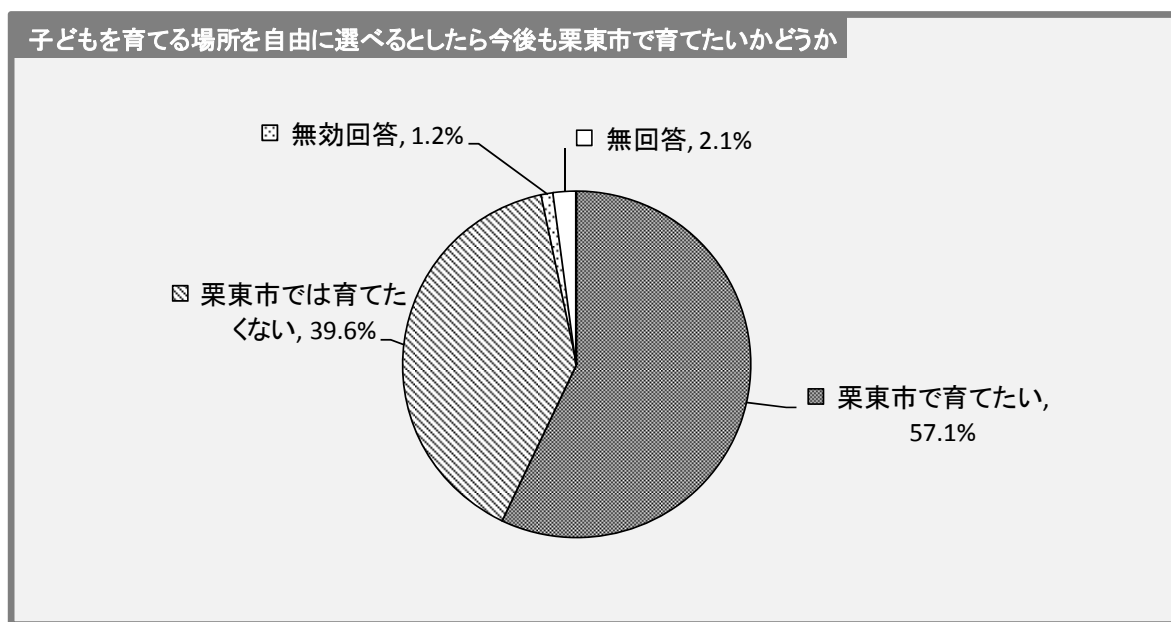
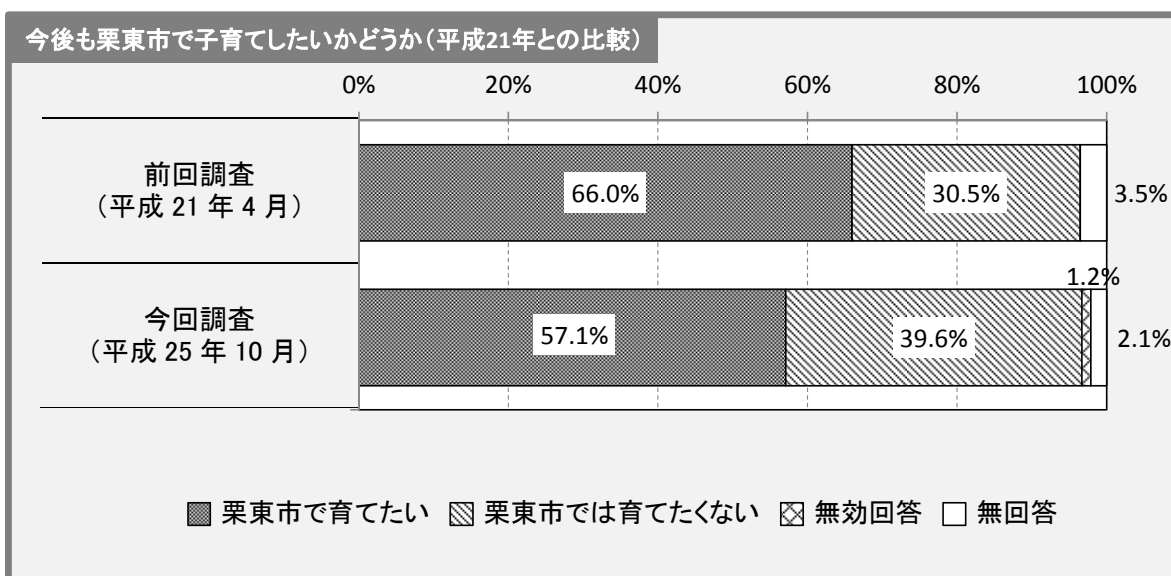


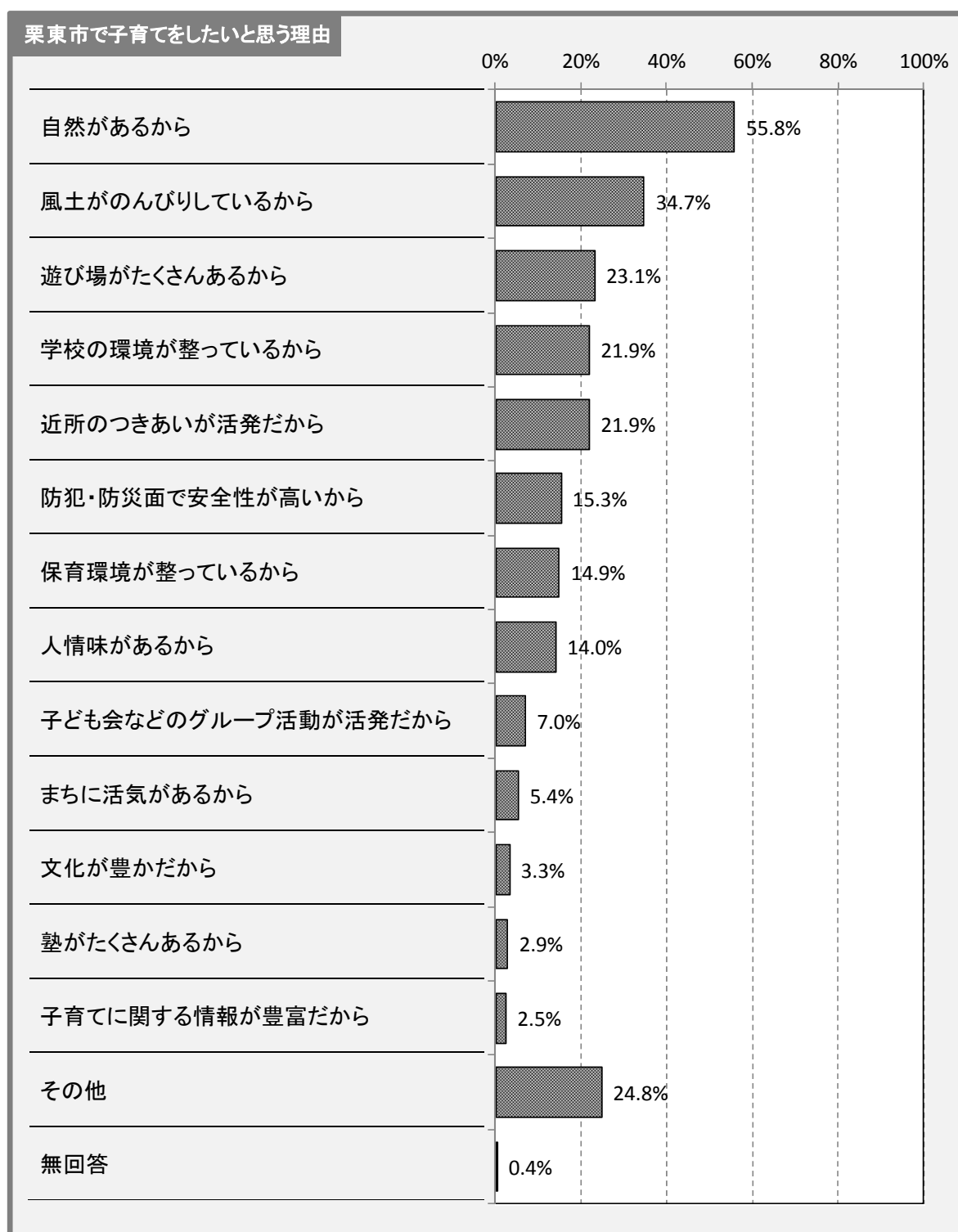
図 2-49 今後も栗東市で子育てしたいかどうか 経年比較（平成 21 年調査 n=423）



問 36—① 栗東市で育てたいと思う理由は何ですか。(問 36 で「1. 栗東市で育てたい」に○をつけた方)

栗東市で子育てしたい理由は、「自然があるから」が 55.8%で最も多く、次いで、「風土がのんびりしているから」(34.7%)、「遊び場がたくさんあるから」(23.1%)と続いています。

図 2-50 栗東市で子育てしたい理由 (複数回答・いくつでも n=242)



問 36-② 栗東市で育てたくないと思う理由は何ですか。(問 36 で「2. 栗東市では育てたくない」に○をつけた方)

栗東市で子育てしたくない理由は、「学校の環境が整っていないから」が 56.0%で最も多く、次いで、「保育環境が整っていないから」(36.3%)、「まちに活気がないから」(25.0%)と続いています。

図 2-51 栗東市で子育てしたくない理由 (複数回答・いくつでも n=168)

